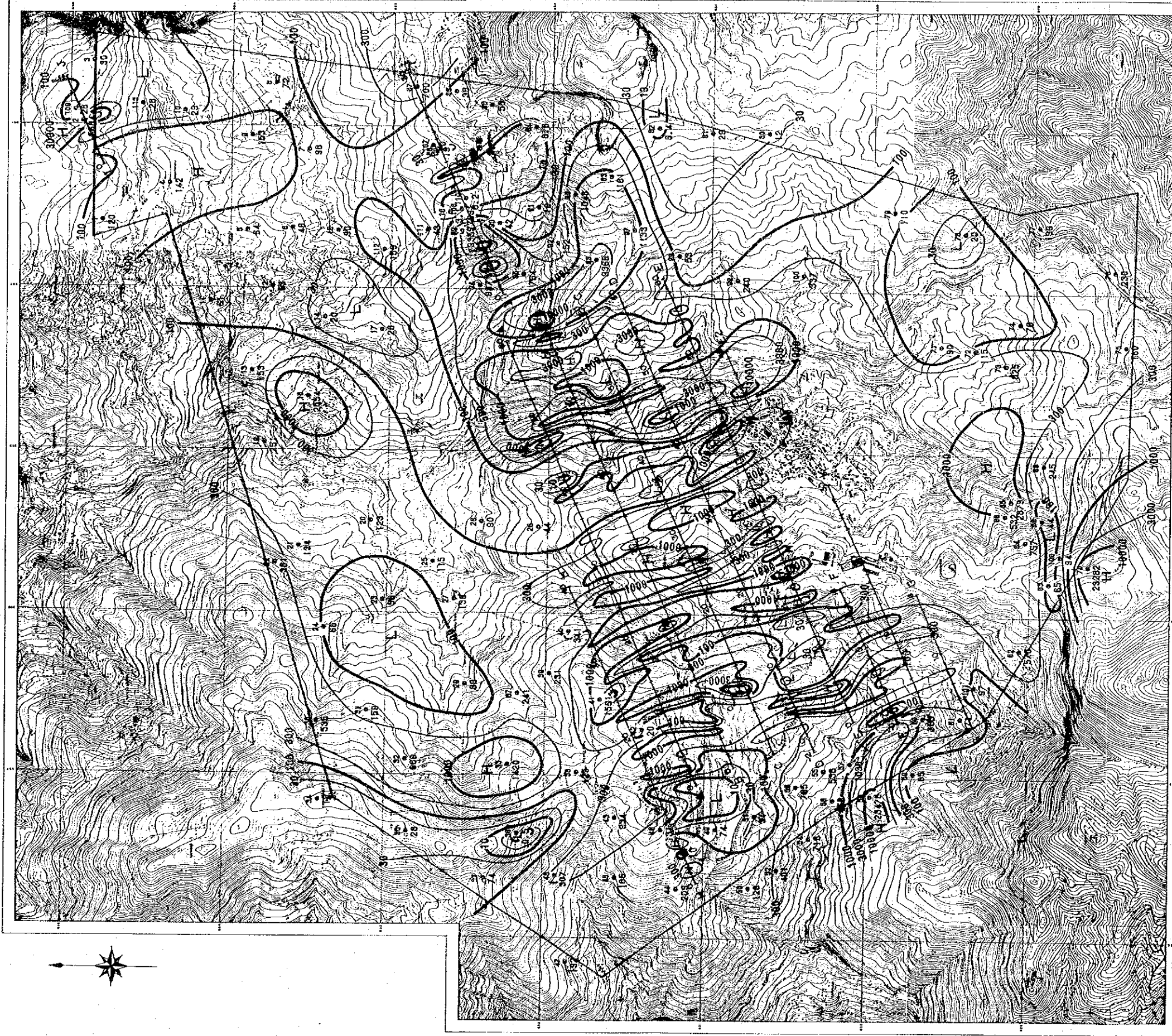


SCALE 1:25,000

LEGEND

- 0 1 Line Name & Station No.
- A | Array CSMT
- H High Resistivity Zone
- L Low Resistivity Zone
- 66 Random Station No.
- 107 Resistivity (ohm-m)
- 100 Contour Line Value & Resistivity (ohm-m)

第3-17図 キューレ地区 比抵抗構造平面図 (2)
[-200m]



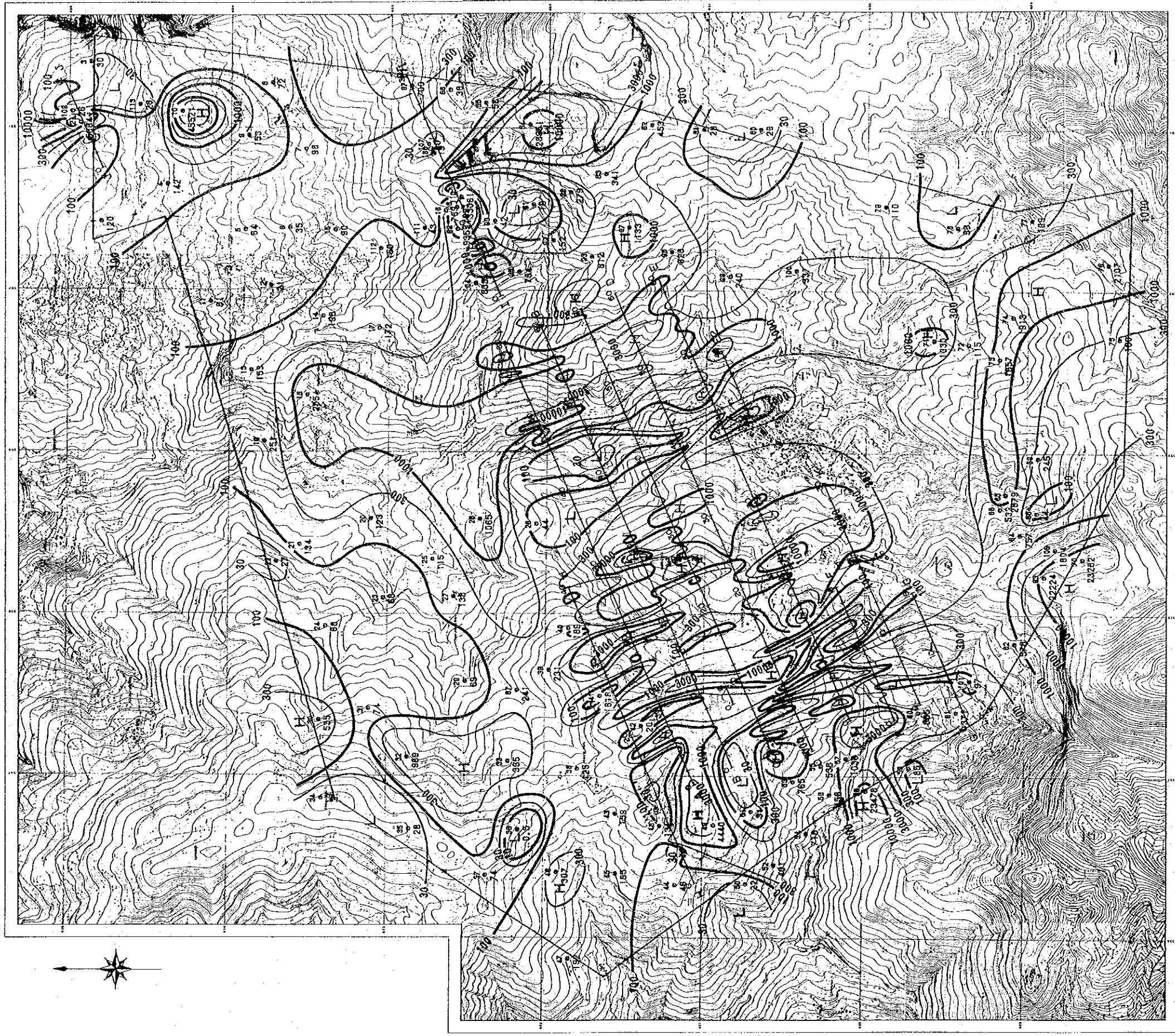
SCALE 1:25,000



LEGEND

- A | Line Name & Station No. H High Resistivity Zone
- | Array CSAMT L Low Resistivity Zone
- 66 Random Station No.
- 107 Resistivity (ohm-m)
- 100 Contour Line Value & Resistivity (ohm-m)

第3-17図 キューレ地区 比抵抗構造平面図 (3)
[-300m]



SCALE 1:25,000



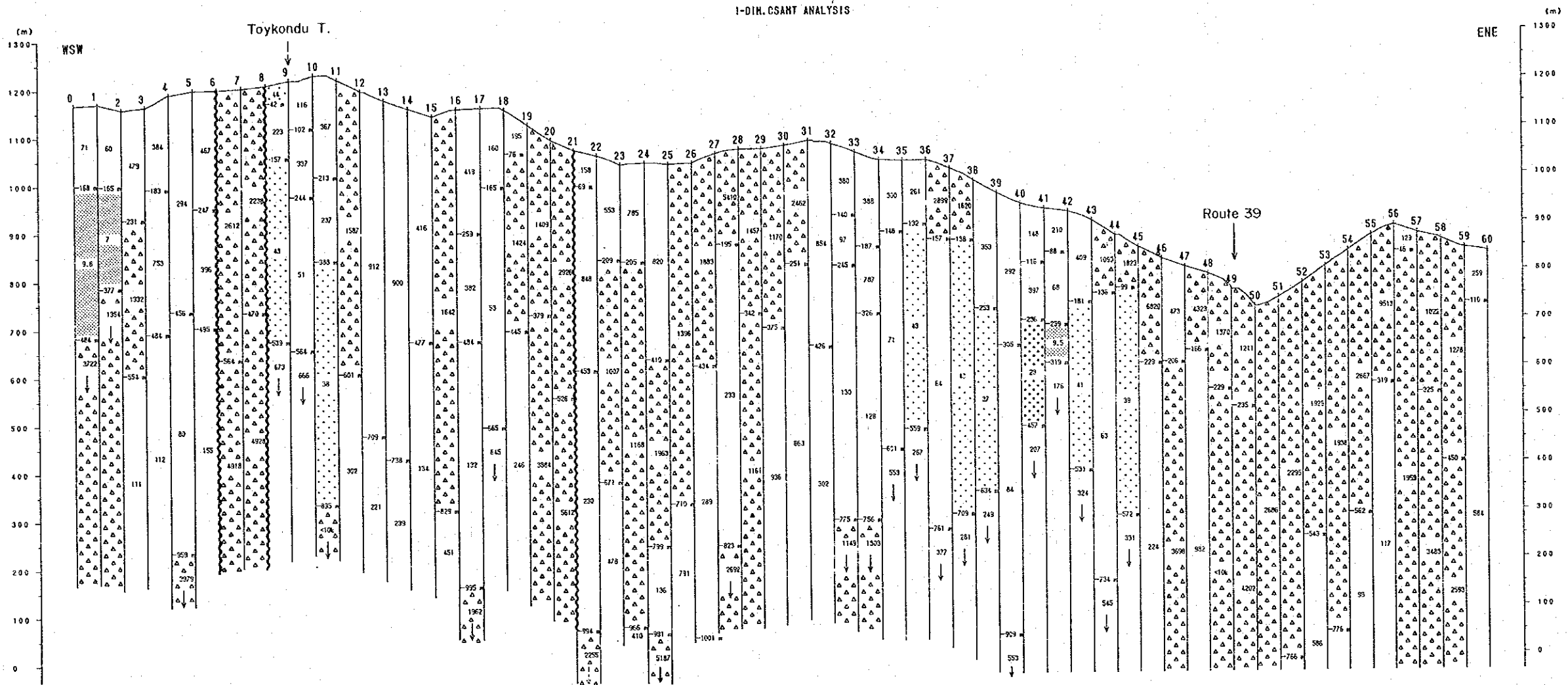
LEGEND

- 0 Line Name & Station No.
- A-1 Array CSMT
- H High Resistivity Zone
- L Low Resistivity Zone

- 66 Random Station No.
- 107 Resistivity (ohm-m)
- 100 Contour Line Value & Resistivity (ohm-m)

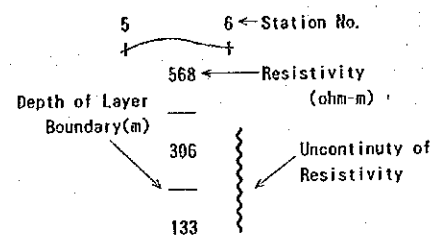
第3-17図 キュレレ地区 比抵抗構造平面図 (4)
[-500m]

LINE A
1-DIM. CSART ANALYSIS



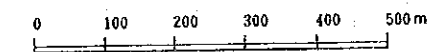
(10k=10x1,000)
(Unit : Ohm-m)

LEGEND



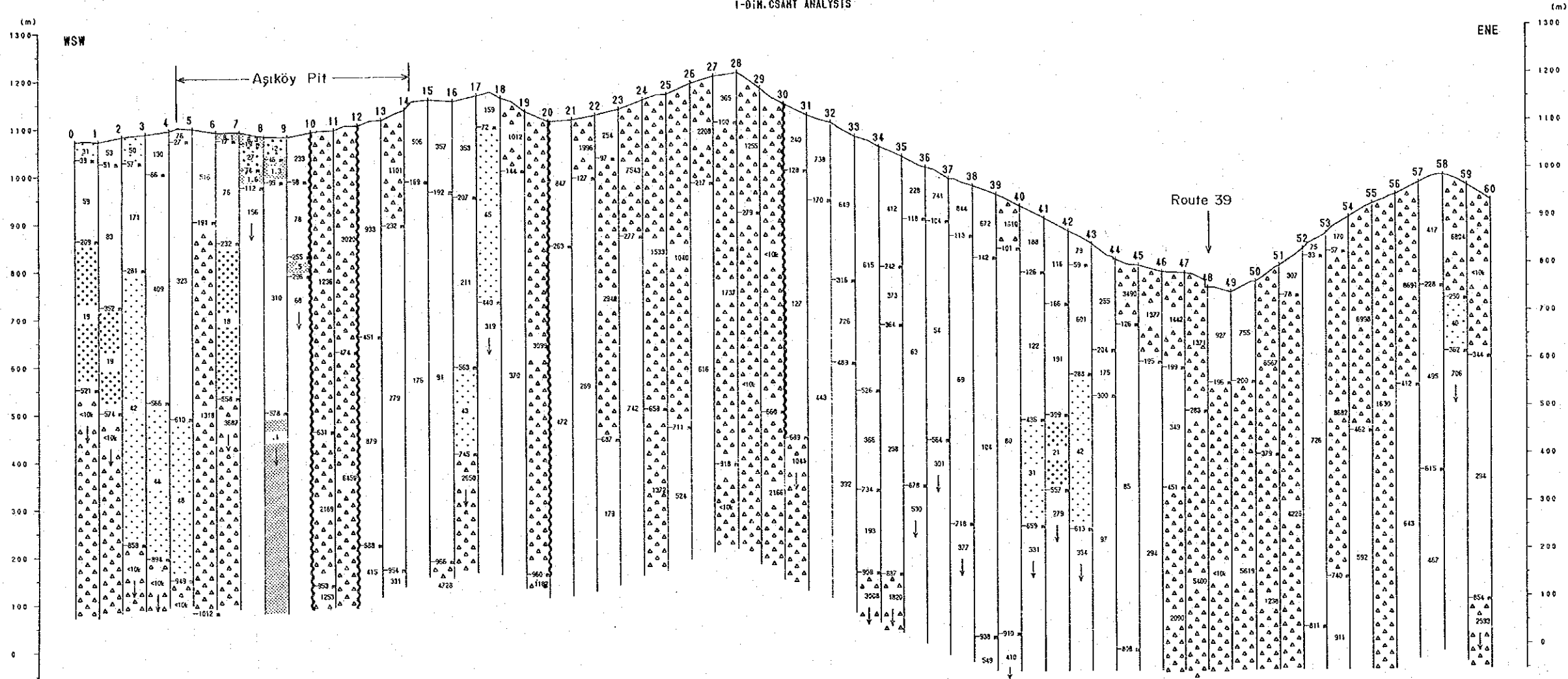
- High Resistivity (≥ 1000 ohm-m)
- Low Resistivity (≤ 50 ohm-m)
- Low Resistivity (≤ 30 ohm-m)
- Low Resistivity (≤ 10 ohm-m)

SCALE 1:10,000



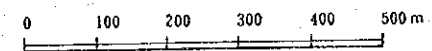
第3-18图 比抵抗構造断面图 (1)
[Line A]
-213, 214-

LINE B
1-DIM. CSAHT ANALYSIS

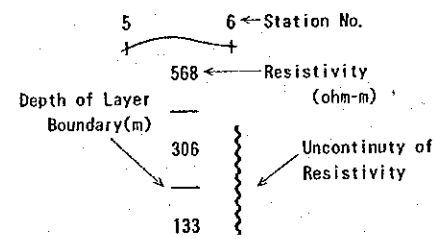


(10k=10x1,000)
(Unit : Ohm-m)

SCALE 1:10,000



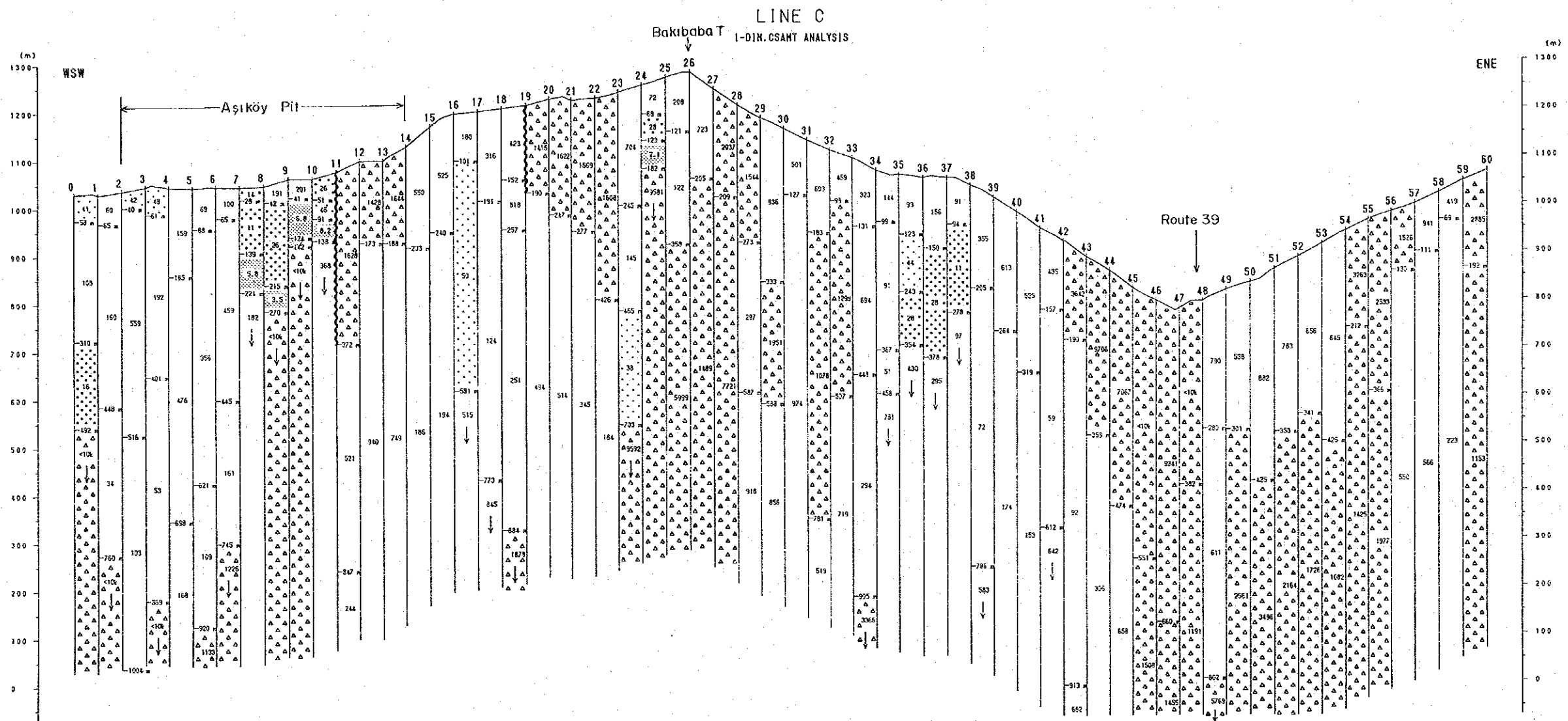
LEGEND



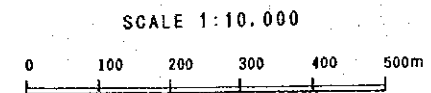
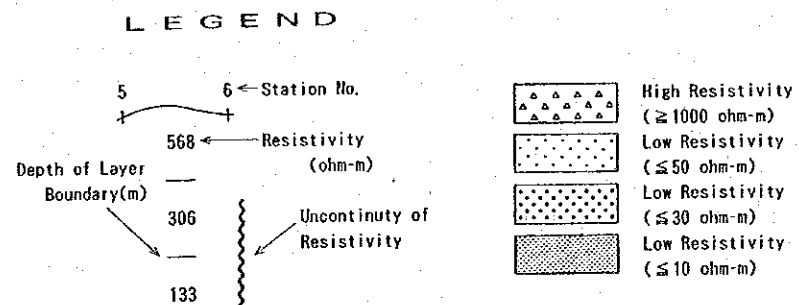
- High Resistivity (≥ 1000 ohm-m)
- Low Resistivity (≤ 50 ohm-m)
- Low Resistivity (≤ 30 ohm-m)
- Low Resistivity (≤ 10 ohm-m)

第3-18图 比抵抗构造断面图 (2)

[Line B]

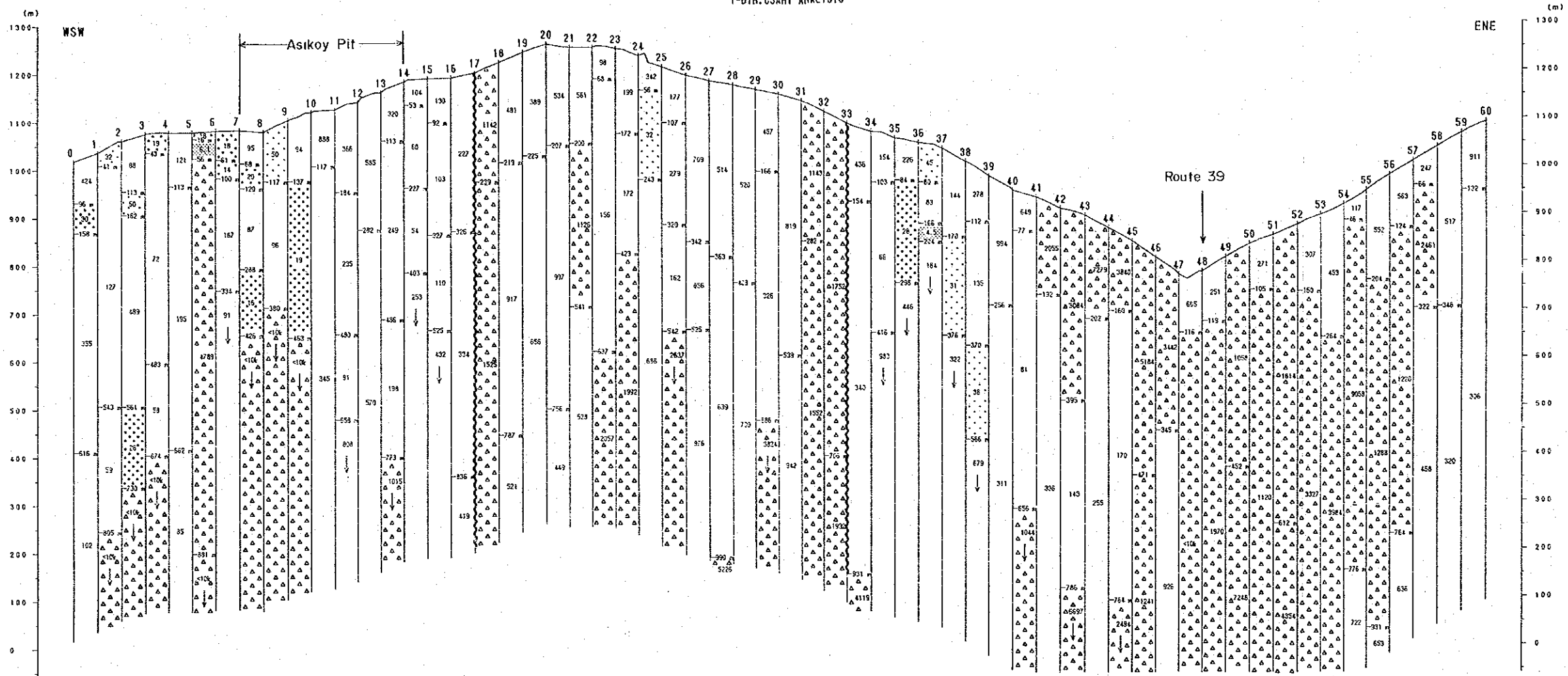


(10k=10x1.000)
(Unit : Ohm-m)



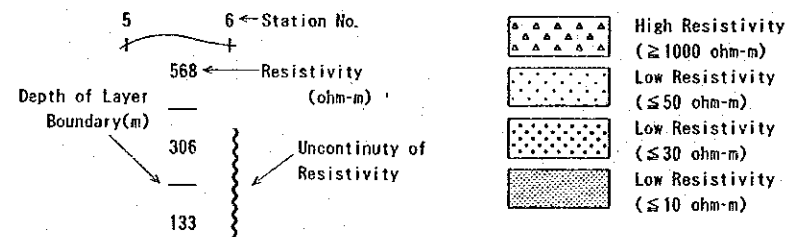
第3-18图 比抵抗構造断面图 (3)
[Line C]
-217, 218-

LINE D
1-DIM. CSAMT ANALYSIS

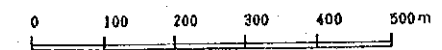


(10k=10x1,000)
(Unit : Ohm-m)

LEGEND



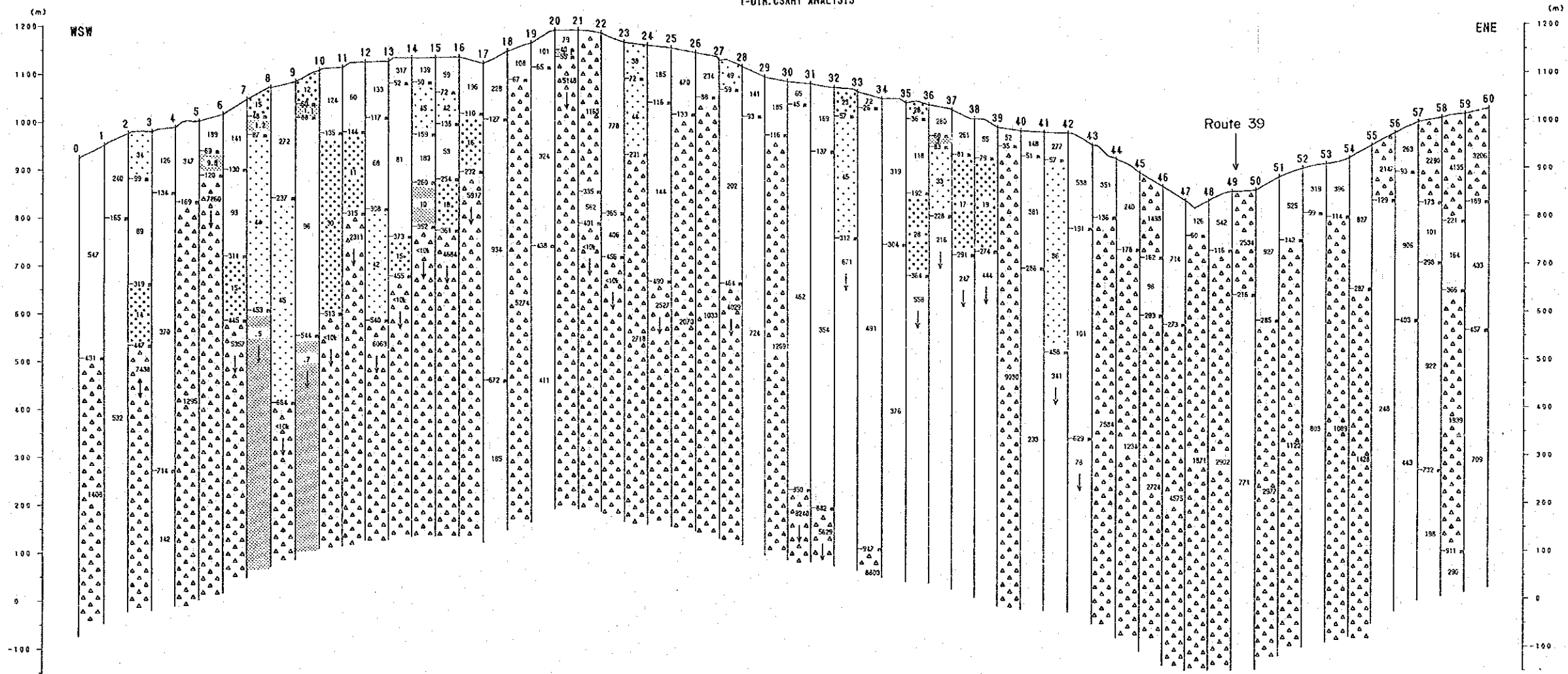
SCALE 1:10,000



第3-18图 比抵抗构造断面图 (4)

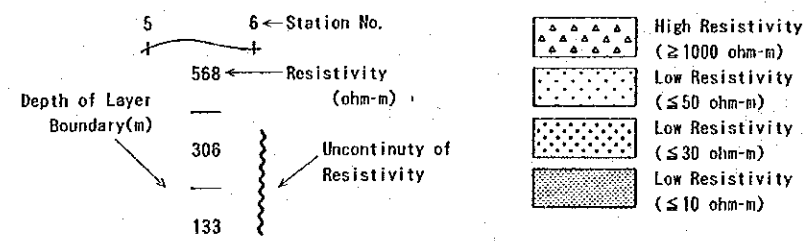
[Line D]

LINE E
1-DIK. CSAHT ANALYSIS

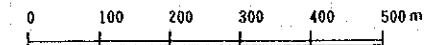


(10k=10x1,000)
(Unit : Ohm-m)

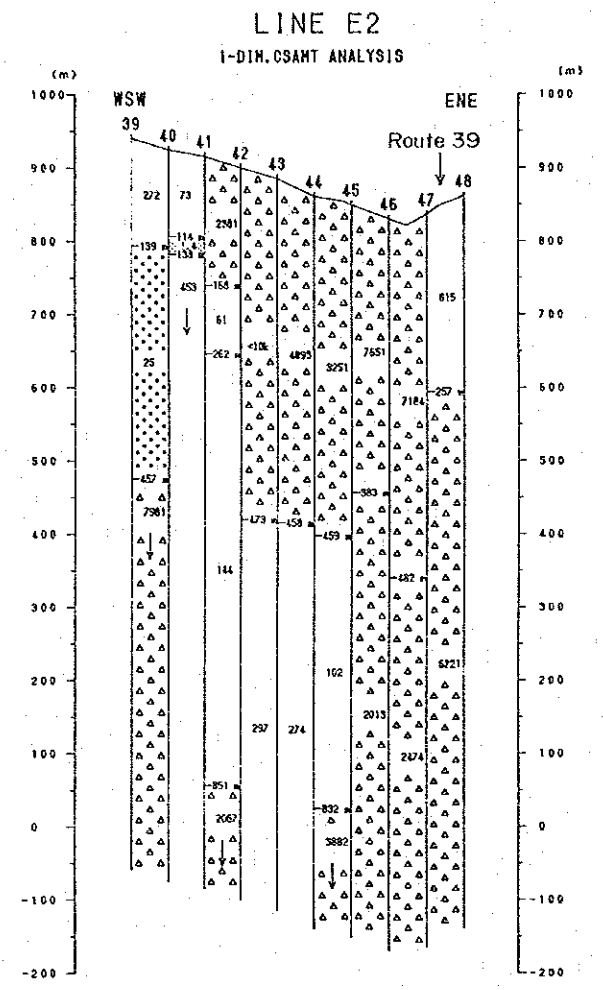
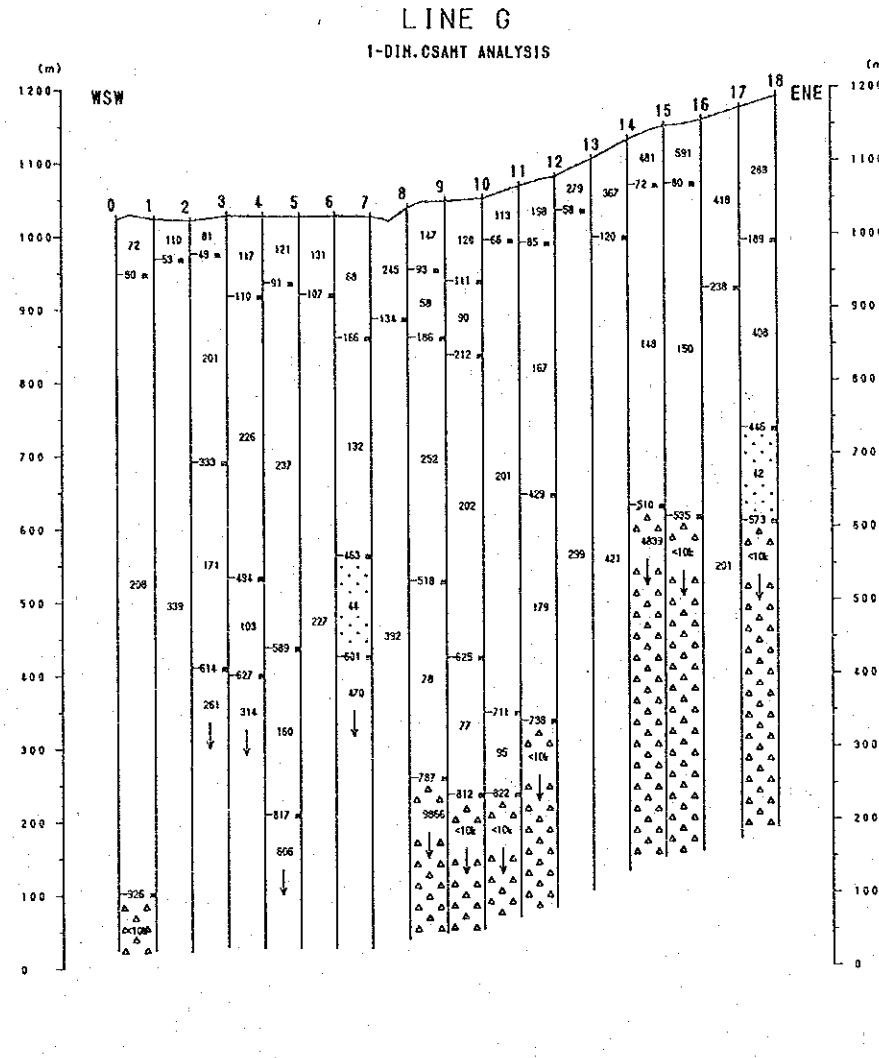
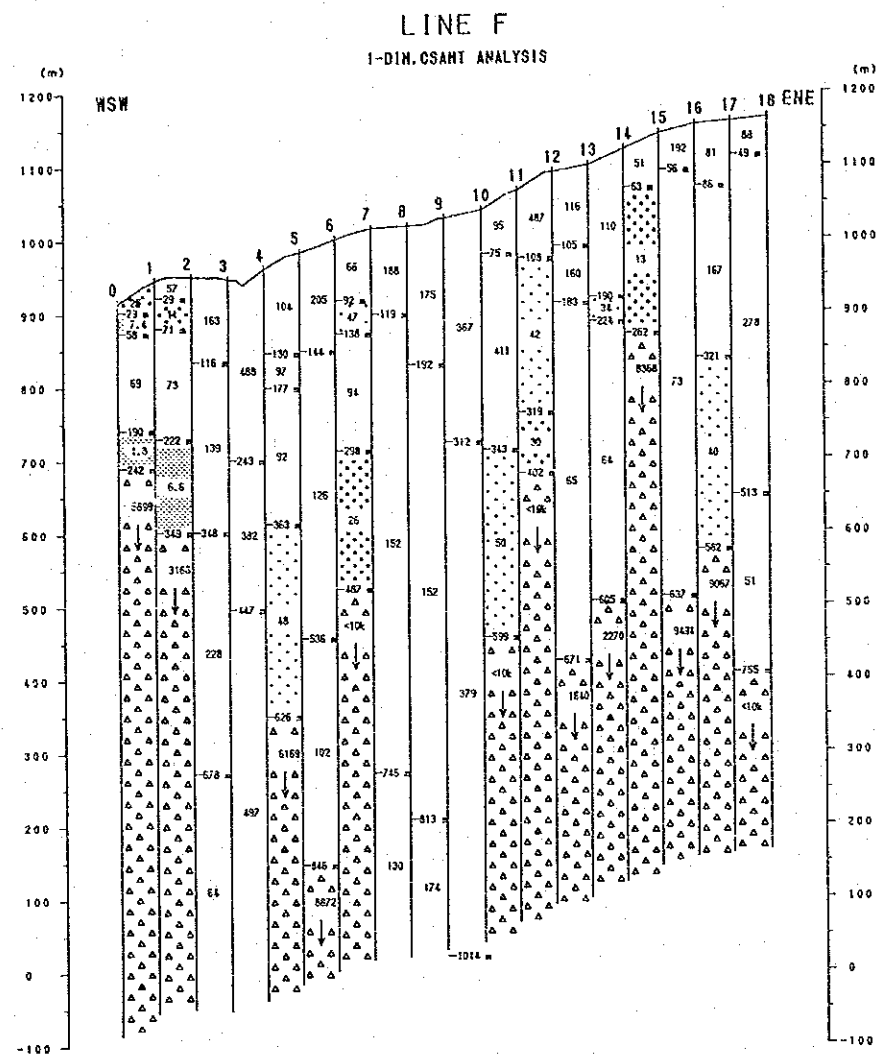
LEGEND



SCALE 1:10,000

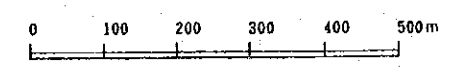


第3-18图 比抵抗構造断面图 (5)
[Line E]

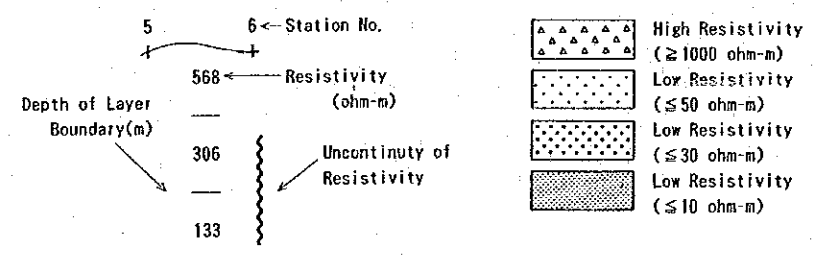


(10k=10x1,000)
(Unit : Ohm-m)

SCALE 1:10,000

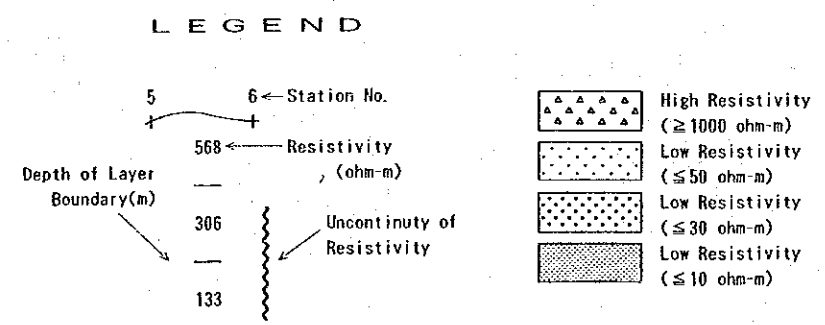
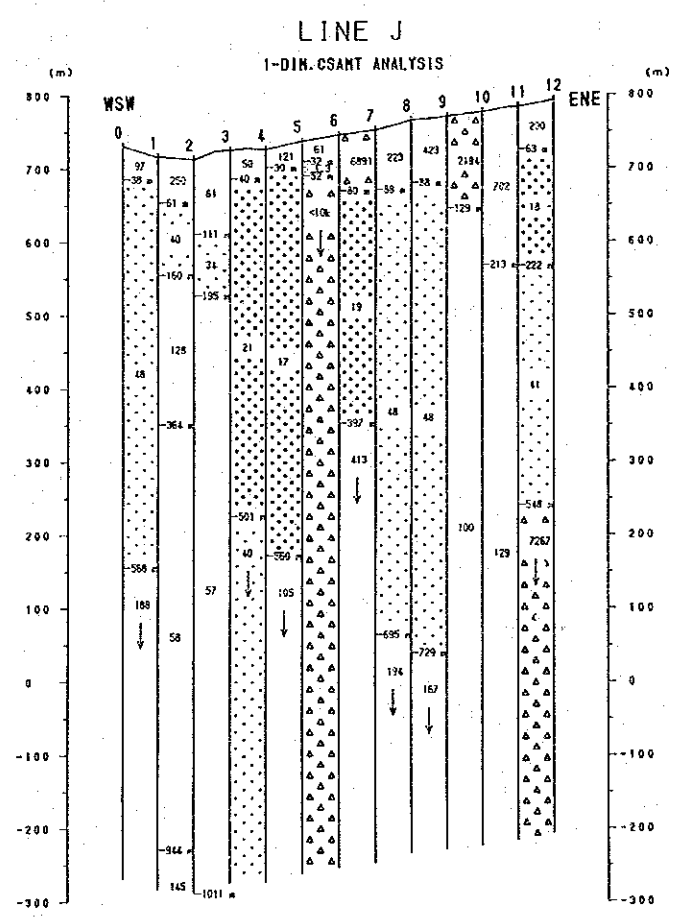
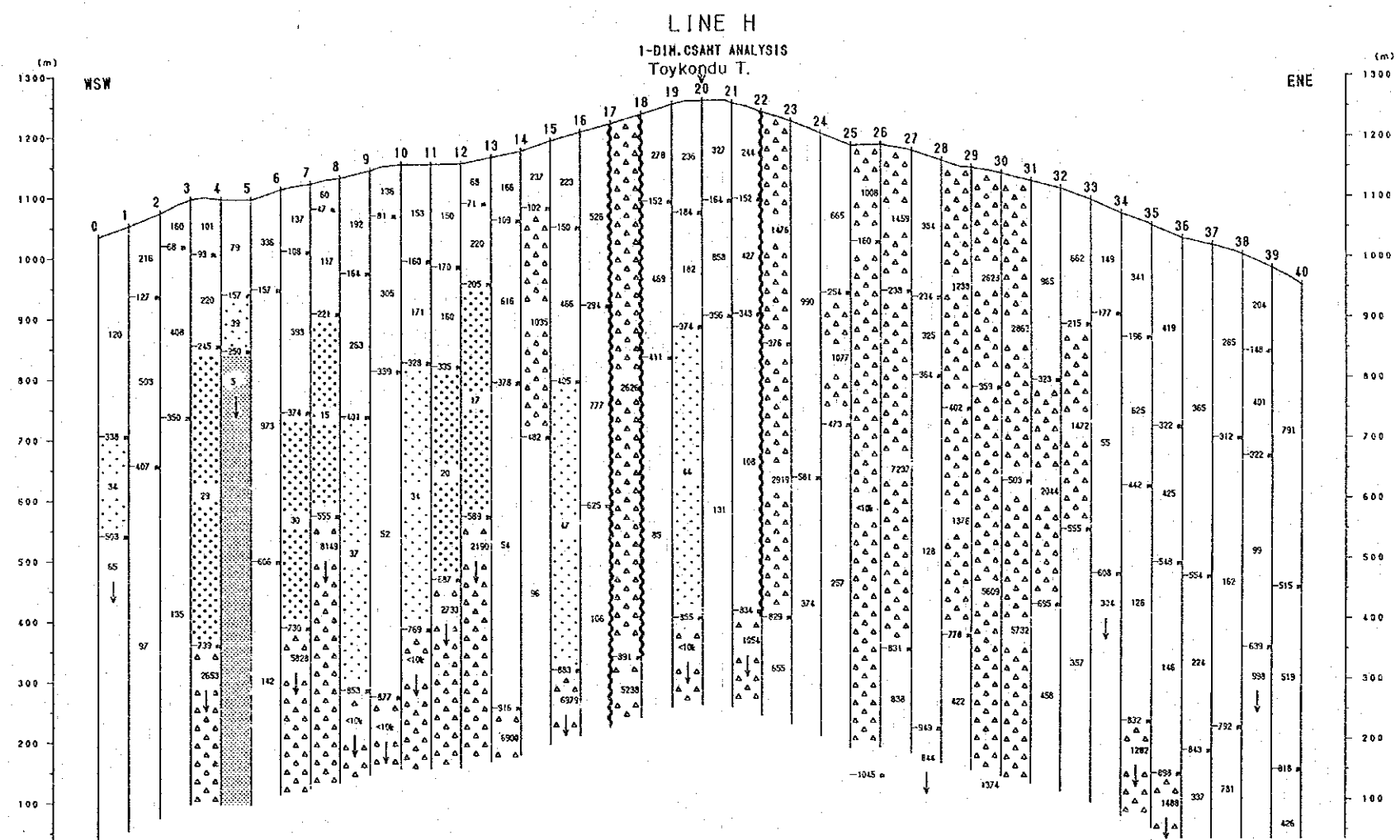
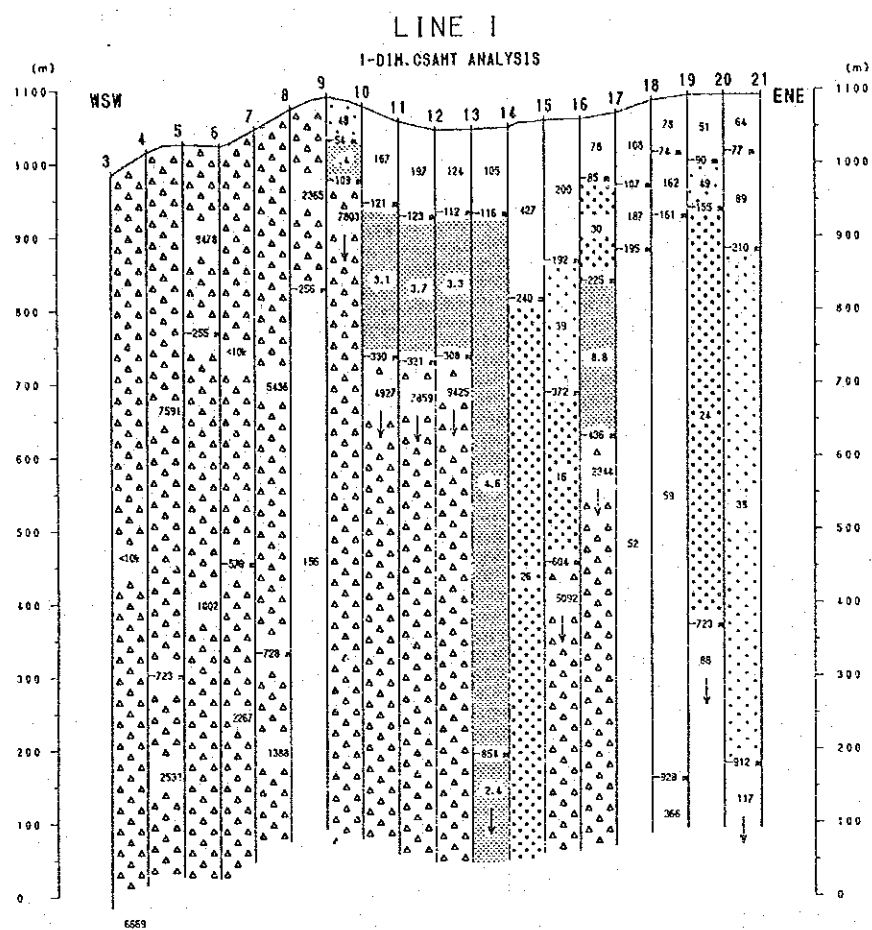


LEGEND



第3-18图 比抵抗構造断面图 (6)

[Line F, G, E2]

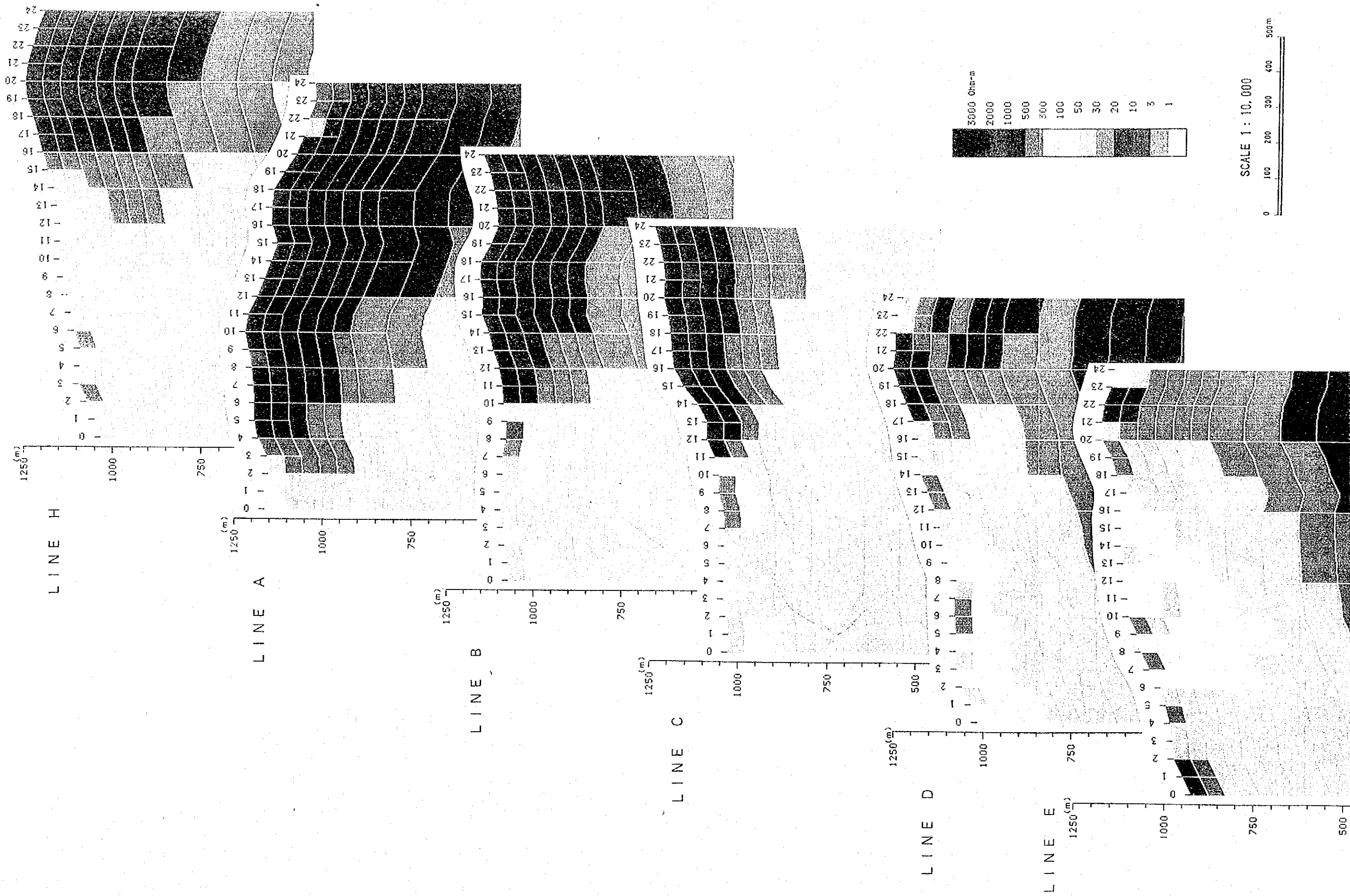


(10k=10x1,000)
(Unit : Ohm-m)

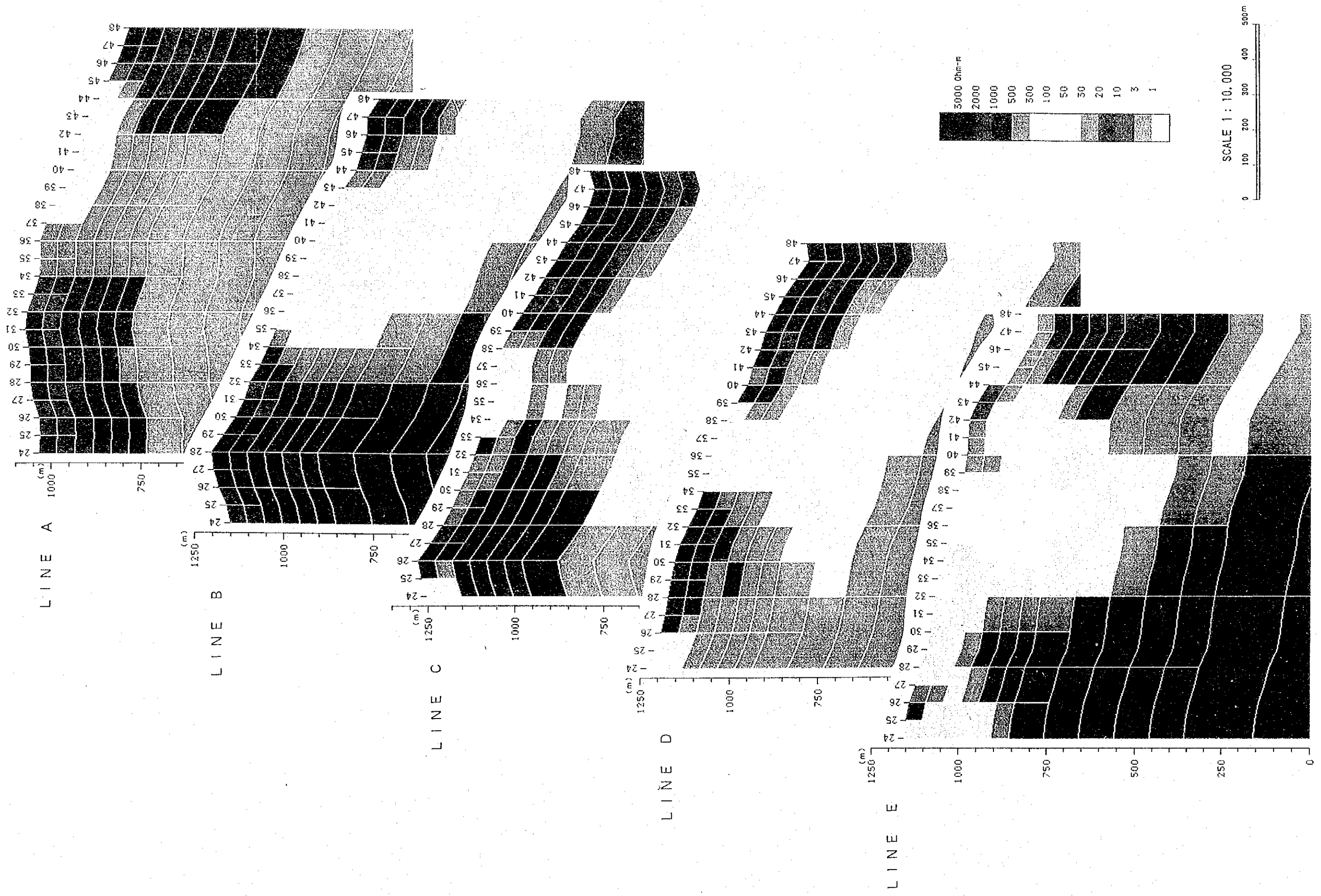
SCALE 1:10,000

0 100 200 300 400 500 m

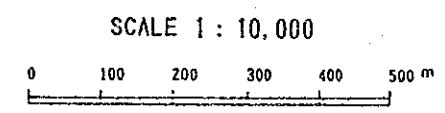
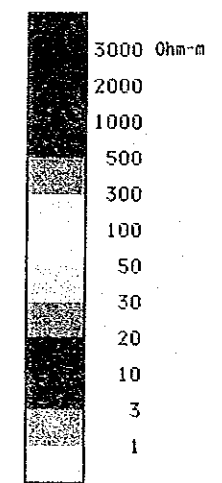
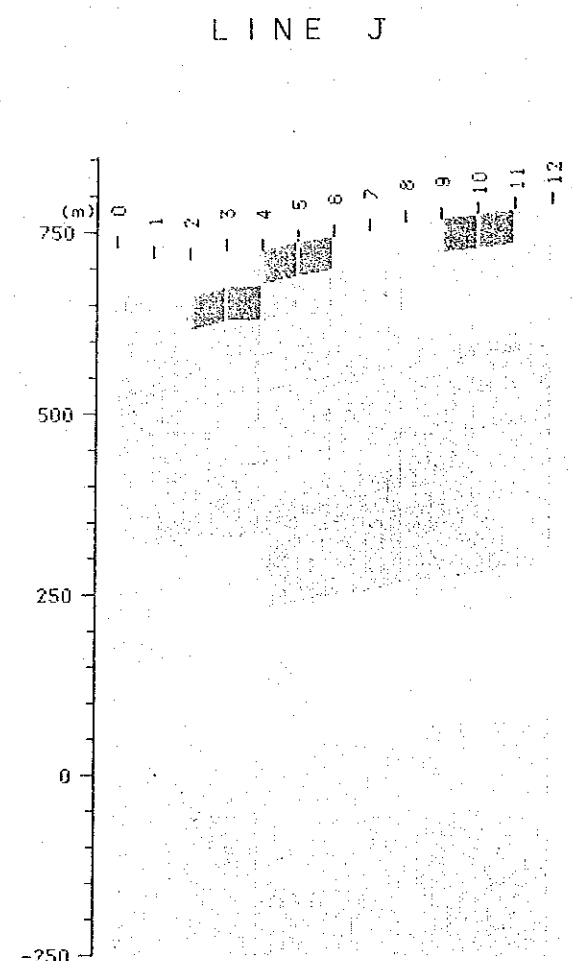
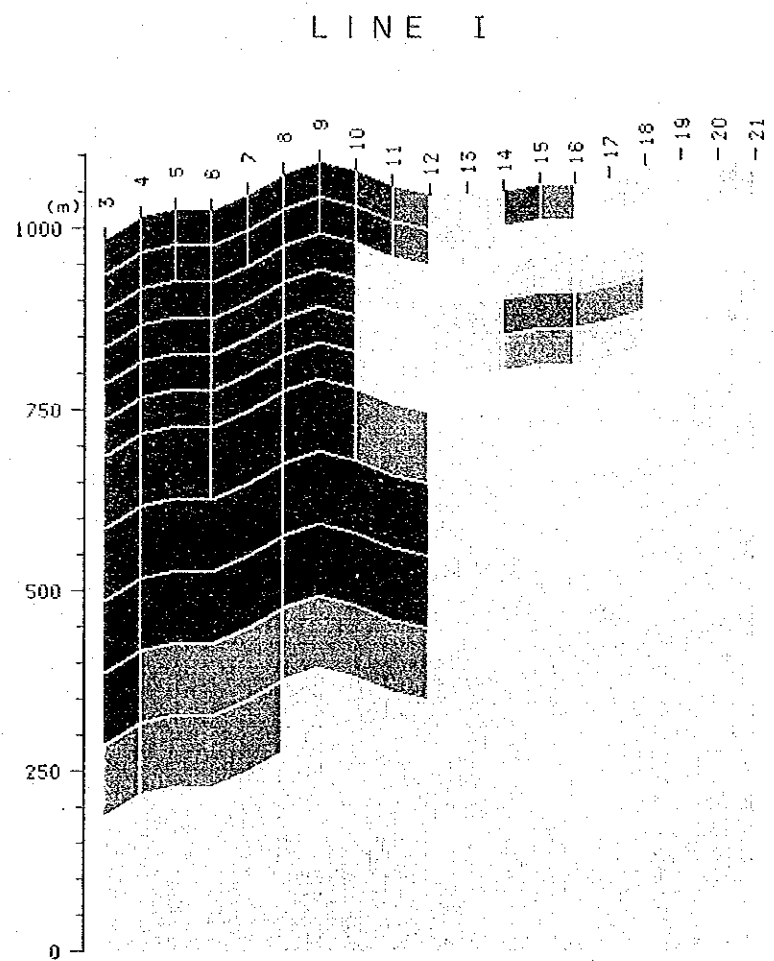
第3-18图 比抵抗構造断面图 (7)
[Line H, I, J]



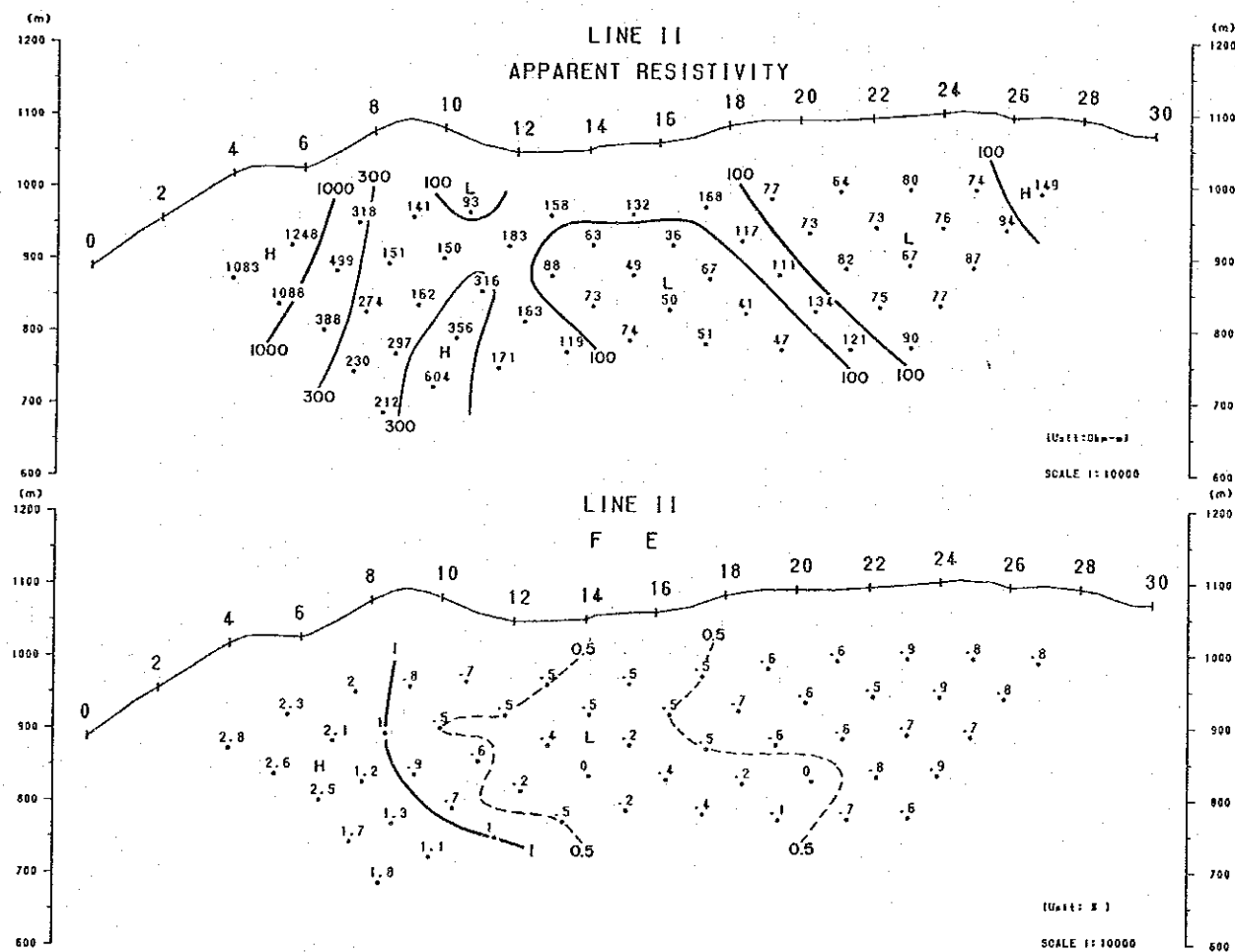
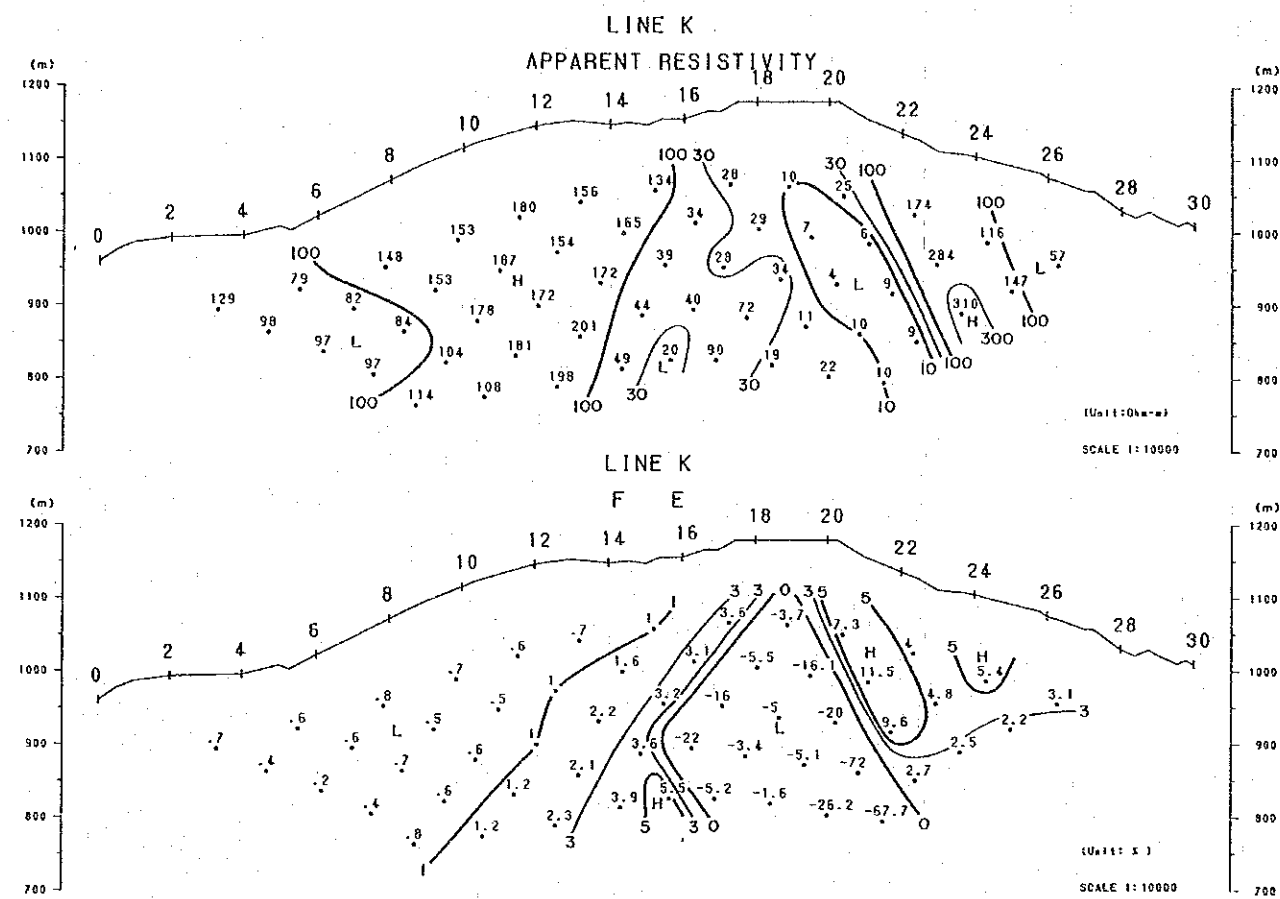
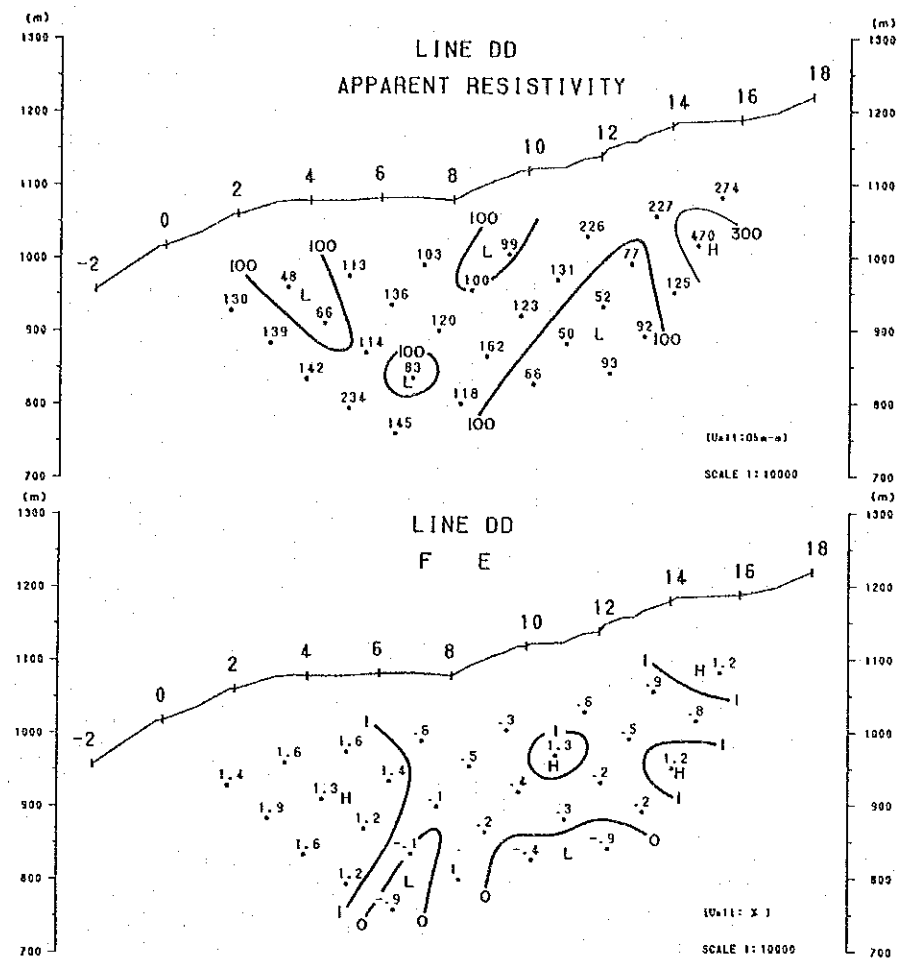
第3-19図 CSAMT法 2次元シミュレーション解析図 (1)



第3-19図 CSAMT法 2次元シミュレーション解析図 (2)



第3-19図 CSAMT法 2次元シミュレーション解析図 (3)
[Line I, J]
-231, 232-



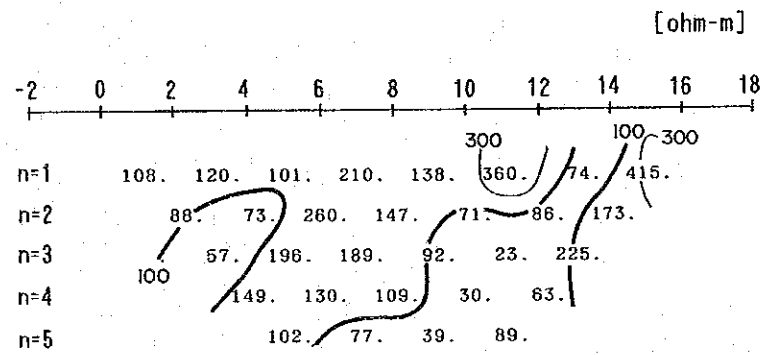
第3-20图 IP法 見掛比抵抗・FE断面图
[Line DD, II, k]

Simulation Model Line D D

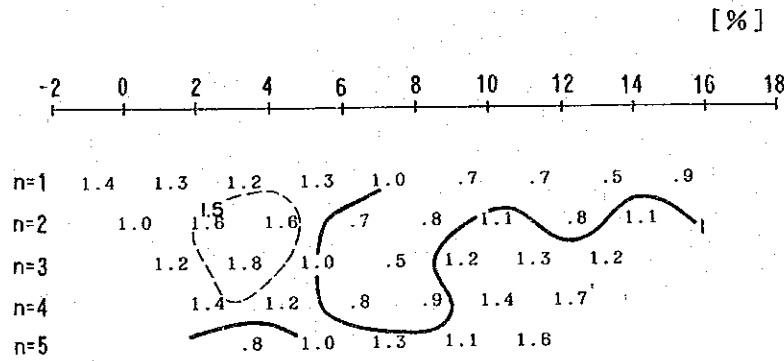
	-2	0	2	4	6	8	10	12	14	16	18
100m	1	444	455	544	444	777	774	774	444	777	777
	2	333	555	533	333	444	444	444	444	777	777
	3	555	555	555	544	444	444	333	444	444	444
	4	555	555	555	554	444	444	333	444	444	444
	5	555	555	555	554	444	444	333	444	444	444
200m	6	555	555	555	554	444	444	333	333	444	444
	7	555	555	555	333	444	444	333	333	444	444
	8	555	555	555	333	444	333	333	333	444	444
300m	9	555	555	555	333	444	333	333	333	444	444
	10	555	555	555	333	444	333	333	333	444	444
	11	555	555	555	333	444	333	333	333	444	444
	12	555	555	555	333	444	333	333	333	444	444
	13	555	555	555	555	533	333	333	333	444	444
	14	555	555	555	555	533	333	333	333	444	444
	15	555	555	555	555	566	666	666	666	666	666
	16	555	555	555	555	566	666	666	666	666	666

CODE	RESISTIVITY	F.E.
	ohm-m	%
1	10.	3.0
2	30.	1.5
3	50.	2.0
4	200.	.5
5	150.	1.0
6	1000.	1.0
7	2000.	2.0
8	8888.	888.0
9	9999.	999.0

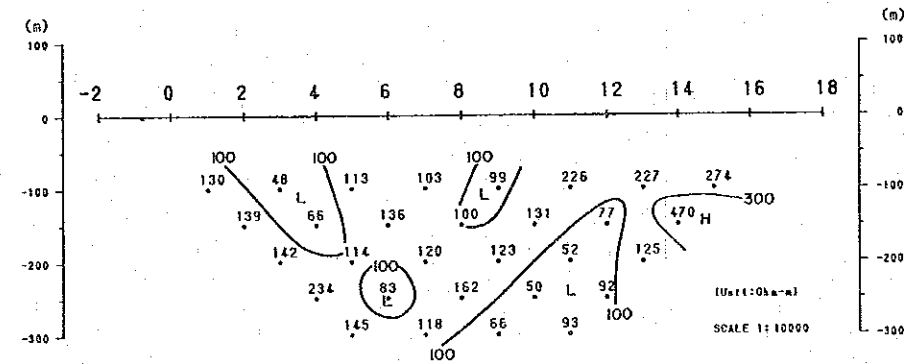
Apparent Resistivity



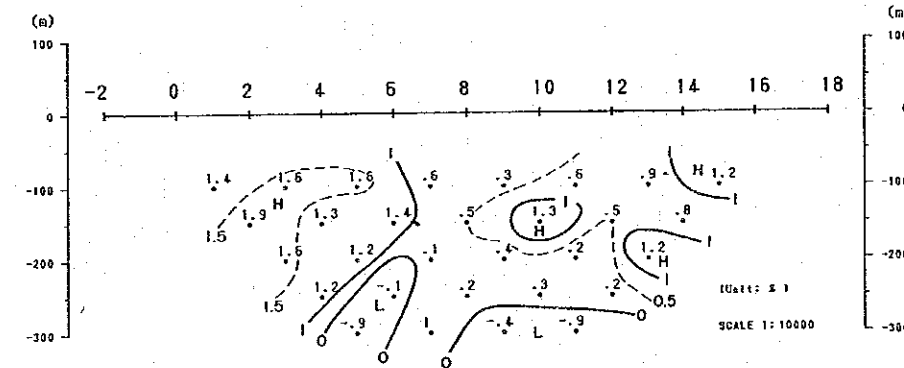
F E



Observed Apparent Resistivity



Observed F E



第3-21図 IP法 2次元シミュレーション解析図 (1)

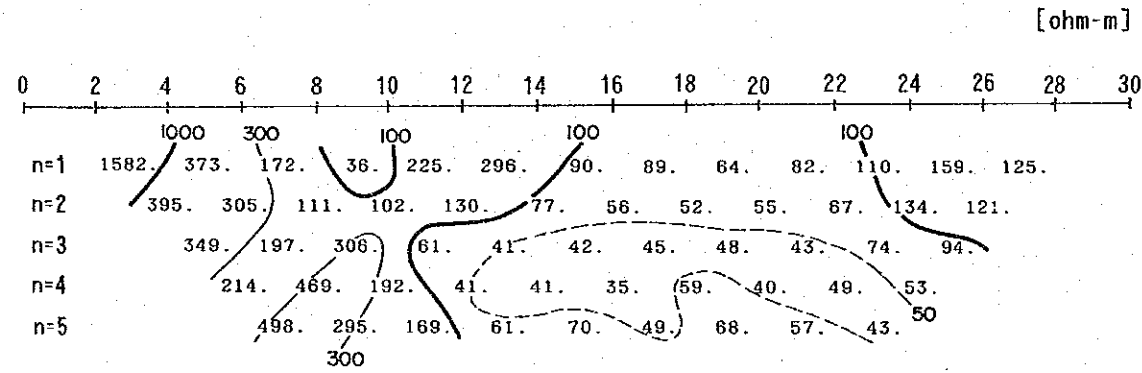
[Line DD]

Simulation Model Line I I

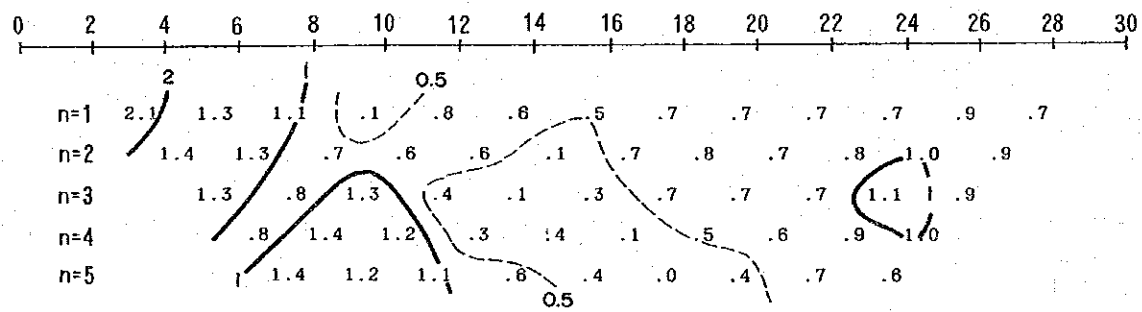
	0	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24	26	28	30
100m	1	666	666	665	555	544	444	555	555	444	444	444	444	444	555	555
	2	666	666	665	555	522	777	777	444	444	333	335	555	555	555	555
	3	666	666	666	555	577	224	444	444	443	333	355	555	555	555	555
	4	666	666	666	555	777	222	222	222	233	333	355	555	555	555	555
	5	666	666	666	665	777	222	222	222	233	333	335	555	555	555	555
200m	6	666	666	666	665	777	222	222	222	233	333	335	555	555	555	555
	7	666	666	666	667	777	772	222	222	222	333	333	555	555	555	555
	8	666	666	666	677	777	772	222	222	222	333	333	555	555	555	555
300m	9	666	666	666	777	777	778	888	888	888	888	888	855	555	555	555
	10	666	666	666	666	688	888	888	888	888	888	888	855	555	555	555
	11	666	666	666	666	688	888	888	888	888	888	888	888	888	888	888
	12	666	666	666	666	688	888	888	888	888	888	888	888	888	888	888
	13	666	888	888	888	888	888	888	888	888	888	888	888	888	888	888
	14	666	888	888	888	888	888	888	888	888	888	888	888	888	888	888
	15	666	888	888	888	888	888	888	888	888	888	888	888	888	888	888
	16	666	888	888	888	888	888	888	888	888	888	888	888	888	888	888

CODE	RESISTIVITY	F.E.
	ohm-m	%
1	5.	.1
2	50.	.5
3	80.	1.0
4	100.	.5
5	200.	1.0
6	1500.	2.0
7	5000.	1.5
8	9000.	.1
9	9999.	999.0

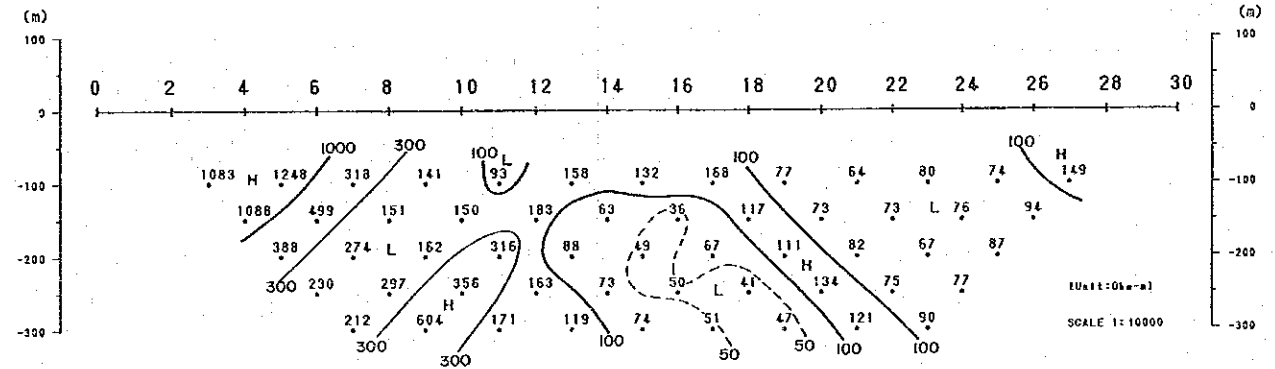
Apparent Resistivity



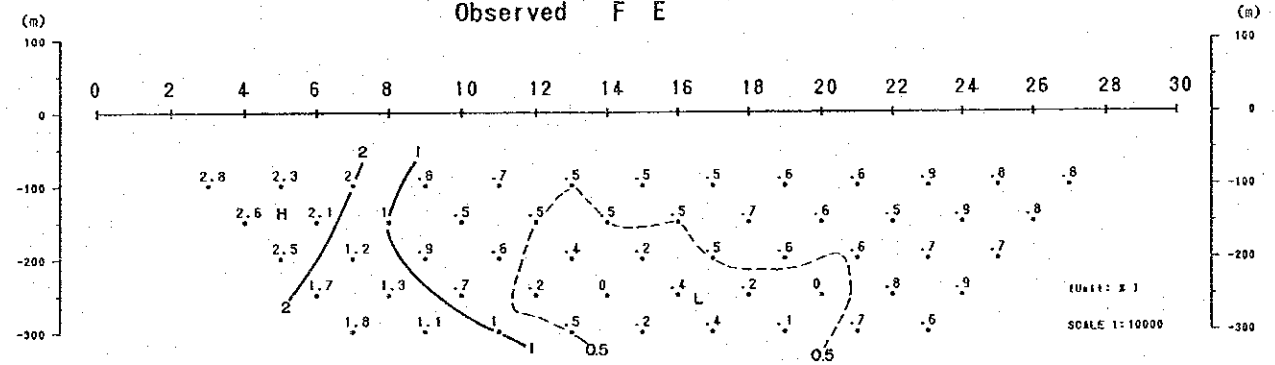
F E [%]



Observed Apparent Resistivity

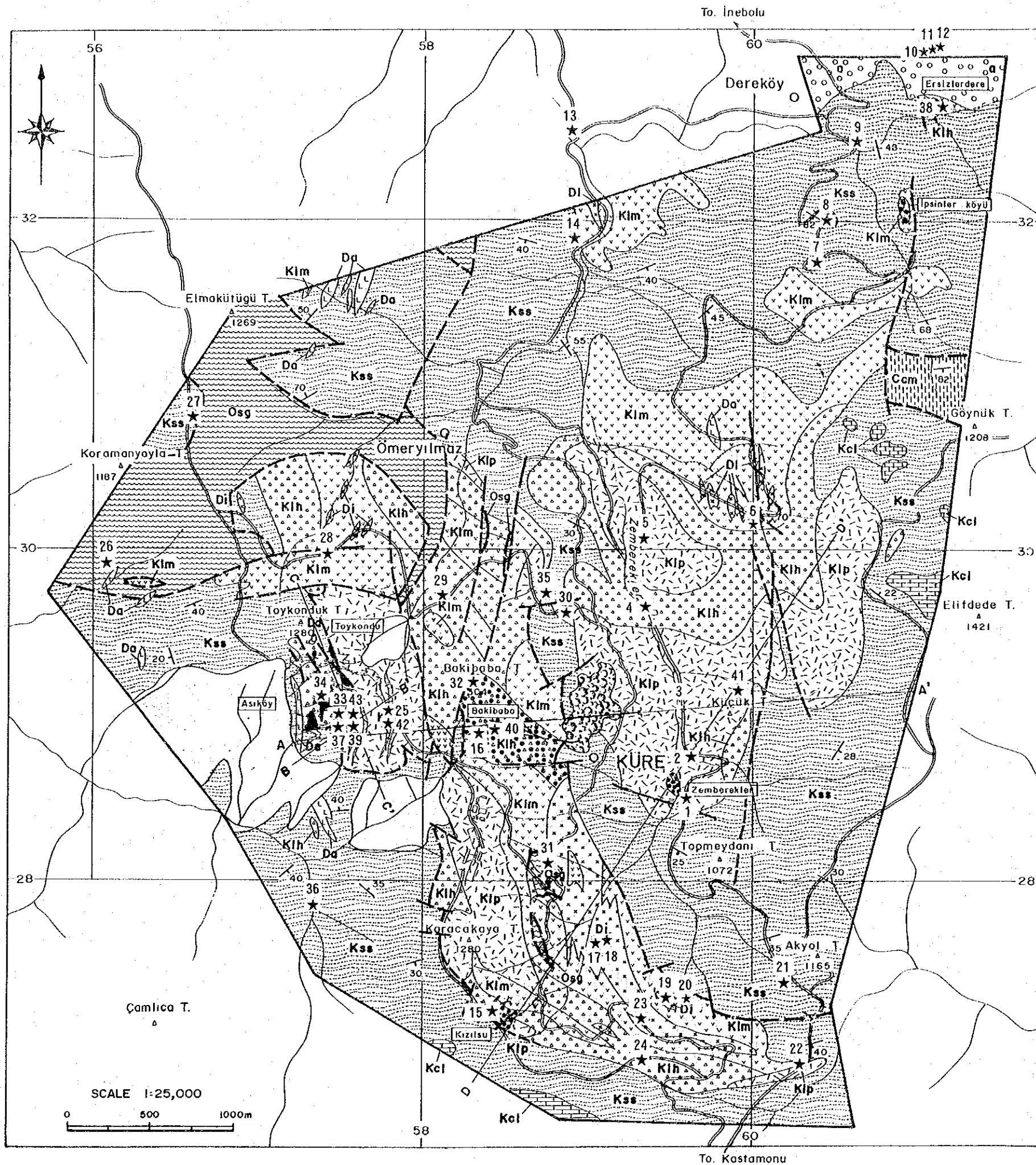





















Observed F E



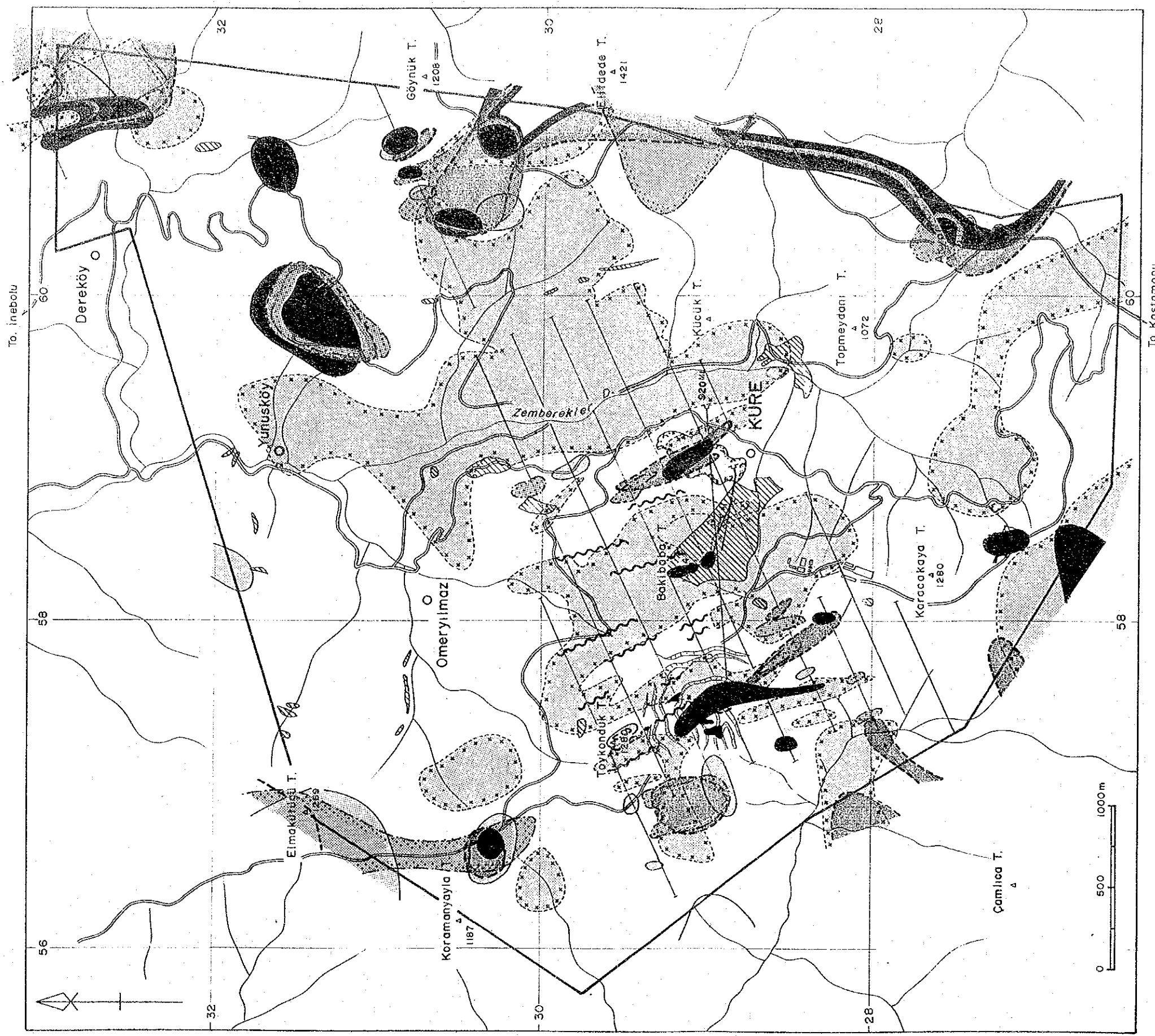
第3-21图 IP法 2次元シミュレーション解析図 (2)

[Line I I]



- L E G E N D
-  a Talus Deposit
 - Çoğlayan F.  Ccm Marl
 - Karadama F.  Kcl Limestone
 -  Kss Black Shale, Sandstone
 - Küre F.  Kip Pillow Lava
 -  Kih Hyaloclastite
 -  Klm Massive Basalt
 -  Da Dacite
 -  Di Diorite
 -  Osg Ultramafic rock
 -  Ore Deposit
 -  Gossan
 -  Fault
 -  28/ Strike and Dip of Strata
 -  Open Pit
 -  Slog
 -  Dump
 -  Gallery
 -  Semi-Detailed Survey Area
 - A—A' Profile Section
 - 26 Rock sample
 - ★ Rock sample

第3-22图 岩石試料採取位置图
-239, 240-



L E G E N D

- | | |
|--|--|
| <p>< 30 ohm-m Low Resistivity Zone</p> <ul style="list-style-type: none"> -100m Level -200m Level -300m Level -500m Level | <p>> 1000 ohm-m High Resistivity Zone</p> <ul style="list-style-type: none"> at-100m~-500m Levels |
| <p>Line of resistivity discontinuity</p> <ul style="list-style-type: none"> Line of resistivity discontinuity | |
| <p>Ore body</p> <ul style="list-style-type: none"> Ore body | |
| <p>Mineral showing</p> <ul style="list-style-type: none"> Mineral showing | |
| <p>Slag</p> <ul style="list-style-type: none"> Slag | |

第3-24图 物理探查解析结果图

第5章 考 察

本地区には既知鉱床としてアシュキョイ・トイコンツ鉱床、バキババ鉱床及びクズルス鉱床がある。本地区には超マフィック岩類、玄武岩類さらに泥質堆積物が分布すること、玄武岩類は海底噴出溶岩であり、水蒸気爆発による凝灰岩をほとんど含まずその噴出時の海底深度はかなり深いと考えられること、さらに、既知鉱床は多量の黄鉄鉱、少量の黄銅鉱、閃亜鉛鉱、微量の白鉄鉱、磁硫鉄鉱などを含むことから、既知鉱床はキプロス型の鉱床である。鉱徴地を含み本地区において金属鉱床探査の対象となるものは、品位・規模から、キプロス型の鉱床であり、鉱種は銅である。

鉱床と玄武岩との関係を見ると、既知鉱床はハイアロクラスタイトと黒色頁岩との境界部またはハイアロクラスタイト中に胚胎しているが、既知鉱体の一部にはハイアロクラスタイト中に直径10~20cmの垂円形の塊状鉱礫が見られる。ここでは母岩中の塊状鉱礫の量と母岩の珪化変質の程度は比例した関係を示す。このことは塊状鉱を形成した鉱化作用が終了したのちも玄武岩の活動（ハイアロクラスタイトの形成）があったことを示している。従い、塊状鉱体は黒色頁岩と玄武岩との境界部のみではなく、玄武岩中にも胚胎が期待できる。

キューレ地区には既知鉱床以外に、13箇所に鉱徴地が認められている。これら鉱徴地は、その母岩または形態から大きく2つに分類できる。

1つはキューレ層玄武岩類または堆積岩類が鉱化変質し褐鉄鉱の鉱染が認められるもので、一般にその形態は平面的に広がりを持った分布を示す。エルシズレルデレ、イブシンレルキョコ、カチルチツウ北東部、カチルチツウ西部、バキババ北、トイコンツ北、ゼンベレクレル、バキババ南西、カラジャカヤ北、の各鉱徴地がこれに当たる。

他は断層沿いに伸長した分布を示すかまたはデイサイト中に見られる鉱徴地であり、ユヌスキョイ北部、ユヌスキョイ西部、エルマキユズグ東方、オメルイルマズ西部、バキババ東、の5鉱徴地がこれに属する。

後者の断層沿いに伸長した分布を示す鉱徴の鉱化時期は、これら断層の活動時期がキューレ層堆積後であり、アシュキョイ・トイコンツ鉱床などの塊状鉱体の形成時期（玄武岩類の活動と同時期ないしはその活動の終末期）とは異なる。従い、キプロス型の鉱床は期待しづらい。

今回の地質調査において既知塊状鉱床と玄武岩類との関係を明らかにしたが、いずれの既知塊状鉱体もハイアロクラスタイトと堆積岩類との境界部またはハイアロクラスタイト中に胚胎している。このことはハイアロクラスタイト分布域または分布期待域が第一探鉱有望地であることを示している。ただし、アシュキョイ・トイコンツ鉱床などで見られるように、塊状鉱体に近接して分布する網状鉱体は塊状玄武岩にも胚胎しており、塊状鉱体を探鉱するにしても、他の玄武岩類中の鉱徴を無視できない。

塊状鉱体または網状鉱体に伴われる変質は、ハイアロクラスタイトに見られるわずかな絹雲母を伴う珪化であり、その規模は平面的には塊状鉱体と同程度広がりしか持たず、また、厚さ最大数mしか期待できない。網状鉱体についても網状硫化細脈分布域の中の一部に

珪化が見られるのみで、変質帯の規模は極めて小さい。鉍体上盤の黒色頁岩には、バキババ南西で脱色変質が認められ、また、アシュキヨイ鉍体上盤の黒色頁岩の一部に3×10mm程度の大きさの黄鉄鉍レンズが見られる以外、キプロス型鉍床上盤に分布する珪質オーカーなどの鉍化を示す徴候は認められない。従い、玄武岩中の変質または黒色頁岩の鉍徴を手がかりとする探鉍には限界がある。

地質調査の結果、以下の箇所が鉍床分布有望域として挙げられる。

①アシュキヨイ・トイコンツ鉍床周辺

本鉍床は大きくみて南北方向に延びた分布を示し、地質構造からしてその延長部分に塊状鉍体の分布が期待できる。特に、南延長部では地表に鉍体上盤の黒色頁岩が分布しておりその下部に鉍体胚胎が期待される。

②バキババ鉍床周辺

バキババ鉍床周辺の地表は600×500mの範囲にわたってゴッサンが分布している。アシュキヨイ鉍体における塊状鉍と網状脈鉍との規模関係からして、塊状鉍体の規模に比べてこのゴッサンの広がりは大きすぎる。従い、ゴッサン下部または周辺に塊状鉍体の分布が期待できる。

③バキババ鉍床ークズルス鉍床間

バキババ鉍床ークズルス鉍床間の黒色頁岩及び玄武岩類との境界部付近には2箇所鉍徴地が知られており、鉍体分布が期待できる。また、クズルス鉍床は網状鉍体と小規模塊状鉍体からなり、鉍体西側は断層により切られている。このことから、断層先に塊状鉍体の分布が期待できる。

このほか鉍徴地の中で、エルシズレルデレ、イブシンレルキョユ、カチルチツウ北東部、カチルチツウ西部、バキババ北、ゼンベレクレル、バキババ南西、カラジャカヤ北、の各鉍徴地には、キプロス型の鉍床の分布が期待できる。特に、ゼンベレクレルは面積120×50mの範囲に赤色土壌（ゴッサン）が認められ、周囲には鉍滓が分布することから、注目すべき鉍徴地の1つとして挙げられる。

第6章 結 論

6-1 結論

調査に先立ちキューレ地域の既存データ解析を行い、これにより本地区の地質調査及物理探査結果等を検討のうえ地質準精査及びアレイ式CSAMT法及びIP法による物理探査を実施した。キューレ地区は現在操業中の鉍山であり、有望な鉍徴地も期待されることから、最初から22km²の範囲の地質精査を実施した。

キューレ地区の地質の大部分は、ライアス統の玄武岩類及び砂岩・頁岩の互層からなるキューレ層で、黒色頁岩とハイアロクラスタイトとの境界部のハイアロクラスタイト中にキューレ鉍床は胚胎する。その他の鉍徴地も同様で、キプロス型鉍床が期待される余地がある。

初年度の地質調査及び物理探査の結果より、金属資源の探査有望箇所として下記の箇所
が抽出された。

- (1) アシュキヨイ鉱体南部地域
- (2) 920ML坑道入り口付近の南北地域
- (3) バキババ鉱床の北方及び南方地域
- (4) イブシンレル鉱化帯南方
- (5) ゼンベレクレル及びクズルス鉱床

箇所別には以下の通りである。

6-1-1 アシュキヨイ鉱体南部地域

CSAMT法により明瞭な異常域が得られた。地表はキューレ層の砂岩・頁岩の互層に被わ
れている地域である。現在露天採掘されているアシュキヨイ鉱体の南部で、鉱床延長部に当
る。キューレ鉱山付近では南北性の構造線が平行に3本走り、西側の構造線の近傍に位置
する。

6-1-2 920ML坑道入り口付近の南北地域

CSAMT法により(1)、(2)に次ぐ異常域が得られた。920ML坑道では黄鉄鉱の鉱染が認めら
れ注目されたが、その後の探鉱はなされていない。ゼンベレクレルの北部延長部に当る。
地表はキューレ層の玄武岩類が分布している。

6-1-3 バキババ鉱床の北方及び南方地域

CSAMT法によりアシュキヨイ鉱体南部に次ぐ異常域が得られた。地表はキューレ層の玄武
岩類とわずかに砂岩・頁岩の互層の分布が認められる。銅品位の高いバキババ鉱床の南北で
の異常域であり、この付近を南北性の構造線が走っていることから新しい鉱床が予想され
る箇所である。

6-1-4 イブシンレル鉱化帯南方

CSAMT法により非常に強い異常域が得られた。地表はカラダナ層の石灰岩の崖錐堆積物に
被われ鉱徴地の認められない地域である。IP法では異常域は得られないことから、抵抗の
低い伏流水が流れているためか、或いはIPの有効深度の200m以深の異常域のためなのか明
きらかでなく、今後物理探査によるフォローアップが必要である。

6-1-5 ゼンベレクレル及びクズルス鉱床

キューレ鉱山一帯は地形が急峻な所に鉱山施設や街があり、鉱山を操業している関係で
高圧線が配線されている。さらに、露天採掘されているため大量の剥土された堆積物に被

われている。このため物理探査を実施する箇所が限定される。鉱徴地の中で物理探査の出来ない箇所が、ゼンベレクレル及びクズルス鉱床付近でボーリング調査による探鉱のみ可能である。

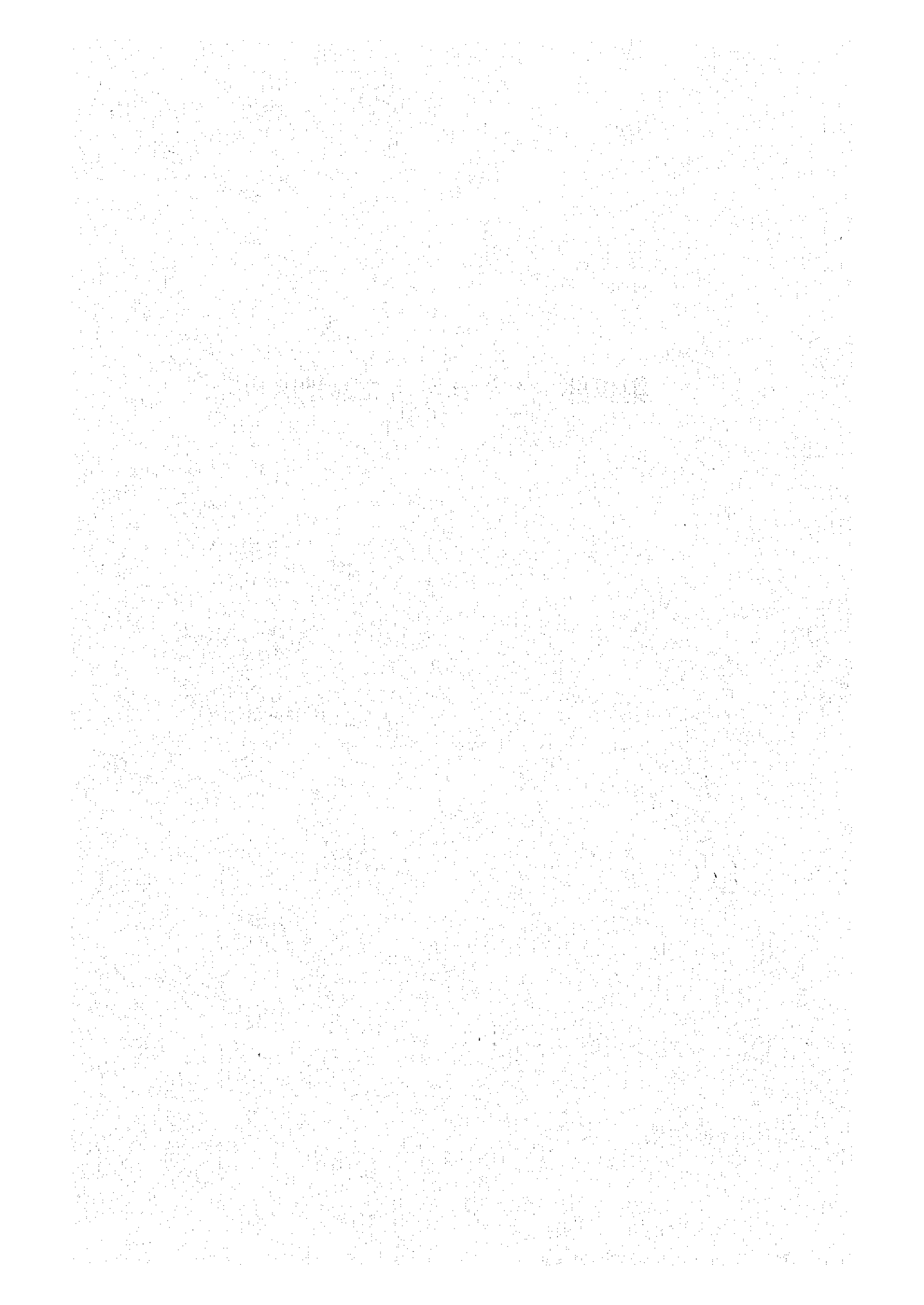
6-2 第2年次調査への提言

前項の有望箇所に対し、下記の調査を実施することが望ましい。

地区名	箇所名	物理探査	ボーリング調査
キューレ	(1) アシユキョイ鉱体南部		○
キューレ	(2) 920ML坑道入り口付近の南北		○
キューレ	(3) バキババ鉱床の北方及び南方		○
キューレ	(4) イブシンレル鉱化帯南方	○	
キューレ	(5) ゼンベレクレル及びクズルス鉱床		○

第2年次以降で上記のような探査を実施することにより、新鉱床ないしは有望な鉱徴地を見つける事ができると期待される。

第IV部 タシュキョブル地区



第IV部 タシュキョブル地区

第1章 タシュキョブル地区の地質

1-1 地質概要

本地区の地質は殆どがチャンガル・メタオフィオライトで構成され、下位よりデヴィレカーニ変成岩類、チャンガル・メタオフィオライト、カヤディビ層、ムズルップ層、クザジック層、アラチャム層、チャイキョイ層からなる。タシュキョブル地区の南側はギヨクルマック川が流れ平坦な地形でタシュキョブル市を中心に広大な沖積層が発達している。本地区の貫入岩はチャンガル花崗岩類及びデイサイトよりなり、チャンガル・メタオフィオライト及びカヤディビ層を抜いている。ライアス統のカヤディビ層より上位は大部分が堆積岩類からなる。調査地区内ではこれら堆積岩類から化石等は見つけられなかったものの、周辺に発達している地層の化石の記載から、第1-19表に示す如く対比される。タシュキョブル地区の模式柱状図、地質平断面図は第4-1図と第4-2図に示す。

1-2 地質層序

1-2-1 デブレカーニ変成岩類

模式地：ヤズジュ (Yazıcı) 部落の南東部

層厚：+1,000m

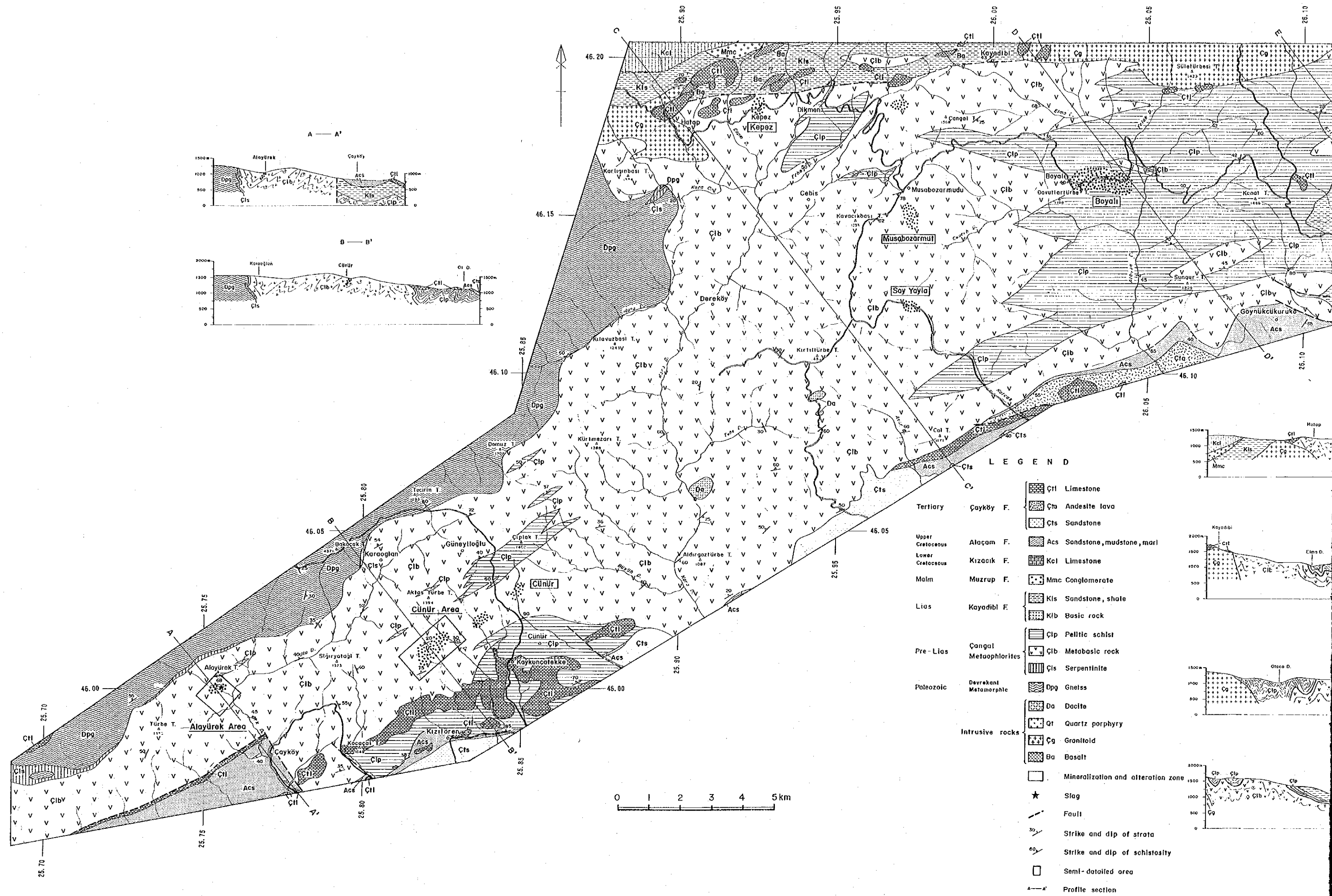
分布：ヤズジュ部落南東部からアラユレック山の南西部で、この分布域はタシュキョブル地区西端部の調査対象域の境に沿って分布する。

岩相及び産状：本変成岩の殆どが黒雲母片麻岩で場所により白雲母の認められる部分もある。本変成岩類の分布域は比較的平坦な地形で露出は悪い。平坦な部分は耕作地で、やや地形がきつくなる部分は植生が発達している。侵食が進み深く切り込んだ沢のフサ (Fusa) 沢では良く見られる。鏡下では片麻状組織で石英・黒雲母・緑泥石・絹雲母からなる。

上位・下位層との関係：南西から北東にほぼ直線状に流れるフサ沢では、西側が本変成岩類、東側が上位のチャンガル・メタオフィオライトの変玄武岩類が分布することから、断層で接している。調査地区の全体の傾向も若干の出入りもあるがNNE-SSW方向で上位のチャンガル・メタオフィオライトの変玄武岩類と接していること、さらに、アラユレック山付近から南西にかけては蛇紋岩が境界部に貫入していることから、デヴィレカーニ変成岩塊とはNNE-SSW方向の構造線に沿って拡がっている。本変成岩類は古生代の堆積岩類とされドゥガー世の造山作用により変成作用を受けているが、それ以前にも変成作用を受けている。

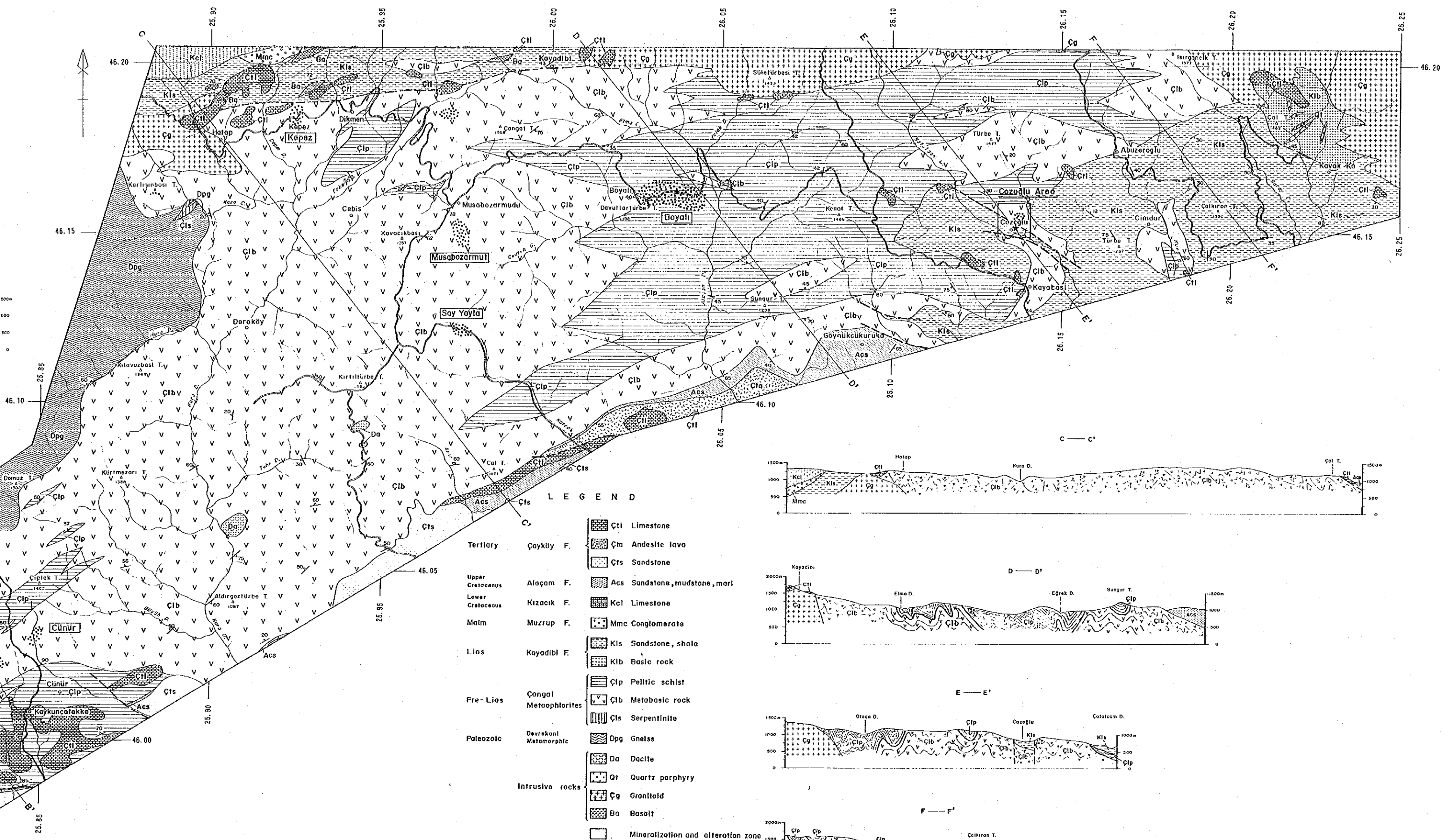
Geologic Age		Formation	Thickness	Rock Facies	Rock Name	Mineralization & Intrusives
Quaternary		Alluvium	+50m		Sand, gravel	↑ Da:dacite Qt:quartz porphyry
Cenozoic	Tertiary	Çayköy F.	+1,000m		Çtl:limestone	
					Çta:andesite lava	
Mesozoic	Cretaceous	Alaçam F.	+500m		Acs:sandstone, marl mudstone	
		Kızacık F.	+500m		Kcl:limestone	
	Jurassic	Malm	+300m		Mmc:conglomerate	
		Dogger				↑ Çangal Granitoids (Çg)
	Lias	Kayadibi F.	+1,000m		Kls:sandstone Klb:basic rocks	
?	Pre-Jurassic	Çangal Meta-ophiolites	+5,000m		Çlp:pelitic schist	↑ Mineralization (Cu,Py)
					Çlb:meta-basic rocks	
Paleozoic		Devrekani Metamorphics	+1,000m		Dpg:gneiss	

第4-1図 タシュキョブル地区模式柱状図



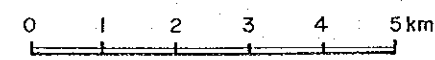
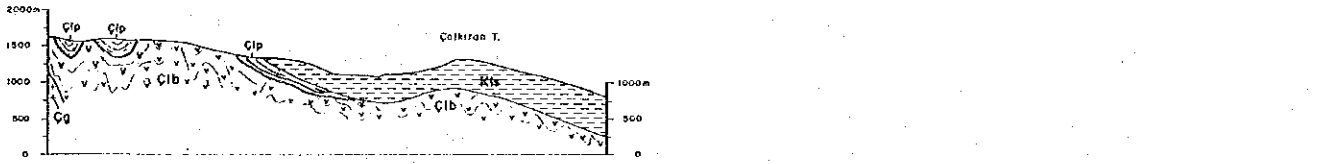
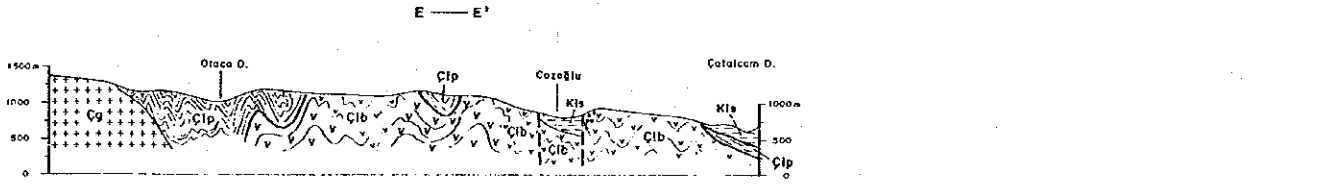
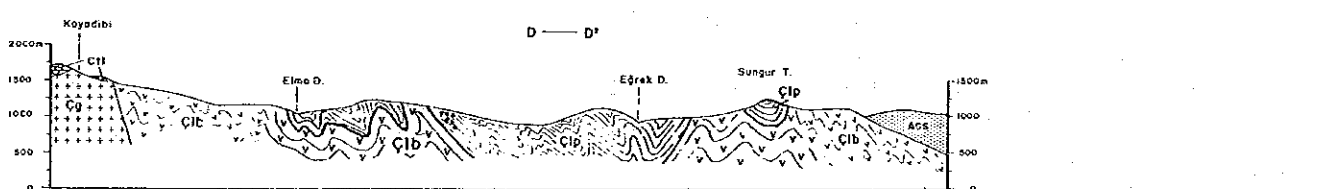
LEGEND

- | | | |
|------------------|-----------------------|------------------------------------|
| | Çtl | Limestone |
| | Çta | Andesite lava |
| | Çts | Sandstone |
| Tertiary | Çayköy F. | |
| | Acs | Sandstone, mudstone, marl |
| Upper Cretaceous | Alaşım F. | |
| Lower Cretaceous | Kızacık F. | |
| Malm | Muzrup F. | |
| | Mmc | Conglomerate |
| Lias | Kayadibi F. | |
| | Kls | Sandstone, shale |
| | Klb | Basic rock |
| Pre-Lias | Çangal | Pelitic schist |
| | Metaophorites | Metabasic rock |
| | Çis | Serpentine |
| Paleozoic | Devrekani Metamorphic | Gneiss |
| | Dpg | |
| | Da | Dacite |
| Intrusive rocks | Qt | Quartz porphyry |
| | Çg | Granitoid |
| | Ba | Basalt |
| | [Pattern] | Mineralization and alteration zone |
| | ★ | Slag |
| | [Line] | Fault |
| | 30° | Strike and dip of strata |
| | 60° | Strike and dip of schistosity |
| | [Box] | Semi-detailed area |
| | A-A' | Profile section |



LEGEND

- | | |
|------------------|------------------------------------|
| | Çtl Limestone |
| | Çta Andesite lava |
| | Çts Sandstone |
| Tertiary | Çayköy F. |
| | Aaçam F. |
| Upper Cretaceous | Kızacak F. |
| Lower Cretaceous | Muzrup F. |
| Malm | Kayadibi F. |
| Lias | Çongal |
| Pre-Lias | Metaophorites |
| Paleozoic | Davrekani Metamorphic |
| | Dacite |
| | Quartz porphyry |
| Intrusive rocks | Granitoid |
| | Basalt |
| | Mineralization and alteration zone |
| | Slag |
| | Fault |
| | Strike and dip of strata |
| | Strike and dip of schistosity |
| | Semi-detailed area |
| | Profile section |



第4-2図 タシキョブル地区地質断面図

